

8 分類別の取組み方策

8.1 事務庁舎等

8.1.1 施設概要と課題等

市役所本庁舎は、市民の暮らしに係る事務全般を担い、市政の中心となる事務所であり、地方自治体にとって必要不可欠な施設です。

しかしながら、本市の本庁舎は床面積が狭いことから、全ての機能を賄いきれず、本庁舎とは別に教育委員会庁舎、徳山港町庁舎、徳山港町分庁舎、市民交流センター、徳山保健センター、上下水道局庁舎、新南陽庁舎、消防庁舎の8か所に機能を分散させており、市民にとっては利便性が悪く、管理運営面では非効率となっています。

総合支所・支所は、市民の暮らしを身近に支える重要な地域の拠点施設であり、各種証明書の発行やコミュニティ活動の支援など市民生活に密着した業務、本庁との連携、さらにはそれぞれの地域に応じた事務を担っています。

表 8-1 施設一覧表(事務庁舎等)

No.	現在所有する施設	所在地区	建築年次	延床面積(m ²)
1	市役所本庁舎	徳山	1954	11,107
2	教育委員会庁舎	徳山	1957	723
3	徳山港町庁舎	徳山	1996	1,596
4	徳山港町分庁舎	徳山	1979	355
5	上下水道局庁舎	遠石	1959	2,831
6	新南陽総合支所	富田西	1960	5,454
7	熊毛総合支所	勝間	2001	1,522
8	鹿野総合支所	鹿野	1971	3,283
9	櫛浜支所	櫛浜	1967	178
10	鼓南支所	鼓南	1980	96
11	久米支所	久米	1980	111
12	菊川支所	菊川	1972	150
13	夜市支所	夜市	1997	120
14	戸田支所	戸田	1976	162
15	湯野支所	湯野	2002	159
16	大津島支所	大津島	1977	150
17	長穂支所	長穂	1971	369
18	須々万支所	須々万	1972	253
19	中須支所	中須	1996	132
20	須金支所	須金	1995	157
21	和田支所	和田	1976	298
22	八代支所	八代	1994	86
23	旧久米支所	久米	1957	501
24	旧須金支所	須金	1965	147
25	(新規)向道支所(大道理夢求の里交流館内)	大道理	1985	21
No.	白書時点から削減した施設	所在地区	建築年次	延床面積(m ²)
1	旧向道支所(H26 解体)	大道理	1979	21

8.1.2 取組み方策の選定

【サービス提供の方向性】

本庁舎及び分庁舎は、市民の暮らしに関わる事務全般を担い、多様な行政サービスを提供しており、多くの市民が利用するため、施設で行われている機能や、提供されている住民サービスについては維持していくことを基本とします。

総合支所及び支所は、出先機関として旧市町の区域における総合的な行政サービスを担う地域の拠点施設であるため、施設で行われている機能や、提供されている住民サービスについては維持していくことを基本とします。

【建物の方向性】

本庁舎については、老朽化や耐震性、バリアフリー非対応、分庁舎への本庁機能の分散など、多くの課題を抱えていることから、安心・安全の確保と利便性の向上を図るため、庁舎建設基本計画に基づき、新庁舎を建設し、機能の集約を図ります。

総合支所及び支所のうち、建築から30年以上経過し、建物が老朽化している施設については、建物の更新の際に複合化（集約化）について検討します。

また、建築からの経過年数が30年未満の比較的新しく、大規模な施設については、多目的化について検討します。

【既に決定している計画等】

- ・市役所本庁舎 ⇒平成26、27年度で基本・実施設計を実施し、新庁舎建設に28年度から着手し、30年度に完成予定
- ・教育委員会庁舎、徳山港町庁舎、徳山港町分庁舎、市役所本庁舎、上下水道局庁舎
⇒新庁舎建設に伴い統合予定
- ・新南陽総合支所 ⇒平成26年度に新南陽総合支所及び西消防署庁舎整備基本構想を策定
- ・鹿野総合支所 ⇒平成26年度に周南市鹿野総合支所施設整備基本方針を策定
- ・向道支所 ⇒平成26年度に地域拠点施設「大道理夢求（むく）の里交流館」へ複合化
- ・櫛浜支所 ⇒櫛浜公民館とともに建て替え中

【既に一定の方向性を示した施設と、取組み方策】

出先機関再配置プロジェクトチームで検討した結果、長穂支所、和田支所については、土砂災害特別警戒区域に立地しており、今後5年を目途に最優先で複合化・多目的化の検討に着手します。

- ・長穂支所 ⇒平成27年から平成31年で複合化・多目的化の検討に着手
- ・和田支所 ⇒平成27年から平成31年で複合化・多目的化の検討に着手

8.1.3 優先的に検討すべき施設の抽出

(1) 建物の方向性(建築経過年数、耐震性能(IS 値))

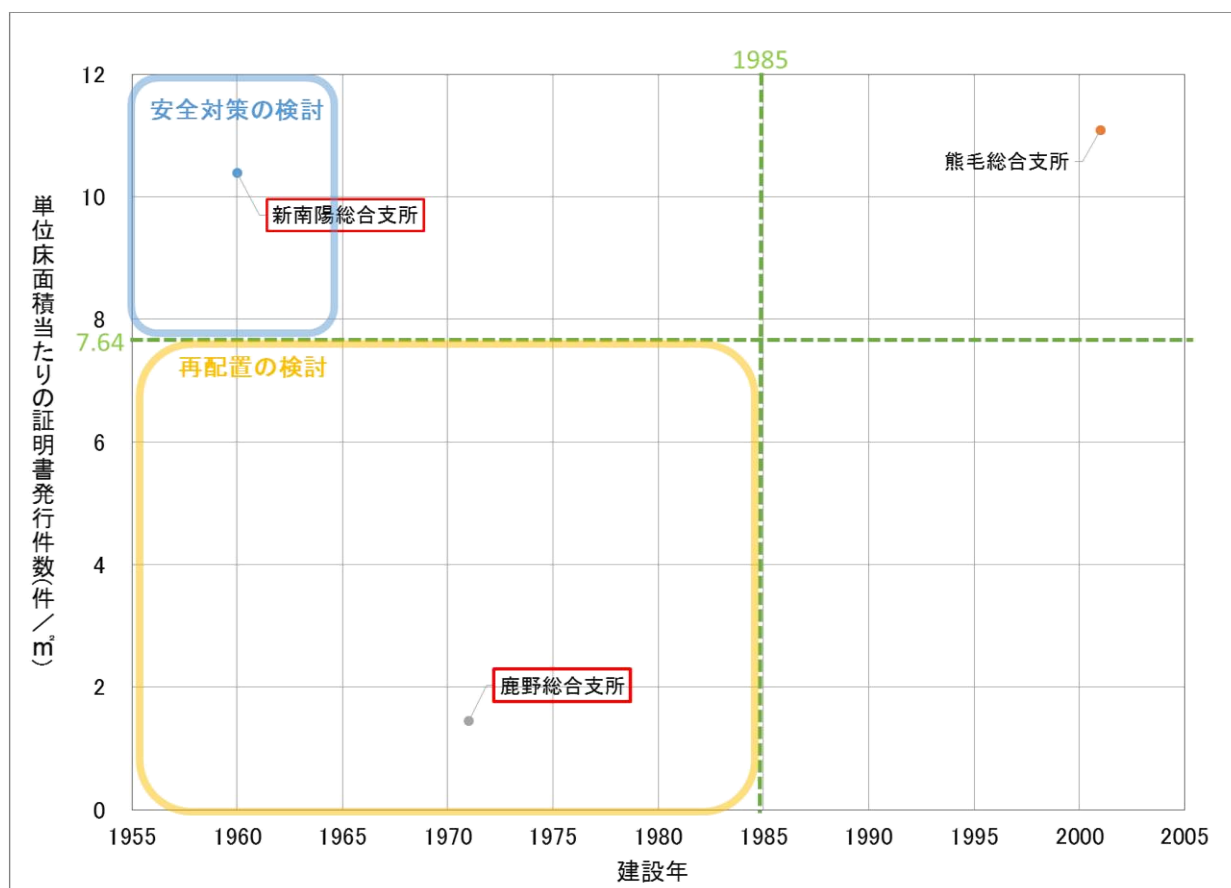
- ・「既存の建物を現状のままサービス提供に利用できるか」という視点

【本庁舎・分庁舎(建築経過年数)】

市役所本庁舎は、新庁舎の建設を進めており、分庁舎は、新庁舎の建設に伴い統合を予定しているため、優先的に検討を行う必要のある施設はありません。

【総合支所(建築経過年数)】

指標名	内容
単位床面積当たりの 証明書発行件数 (件/㎡)	年間証明書発行件数÷延床面積 サービス水準：7.64 (件/㎡)
建設年	建物の建設年 ※建物が建設された時点からの経過年数で安全性を評価 安全性水準： 安全対策の検討：建設後 50 年以上経過している施設（1965 年） 再配置の検討：建設後 30 年以上経過している施設（1985 年）



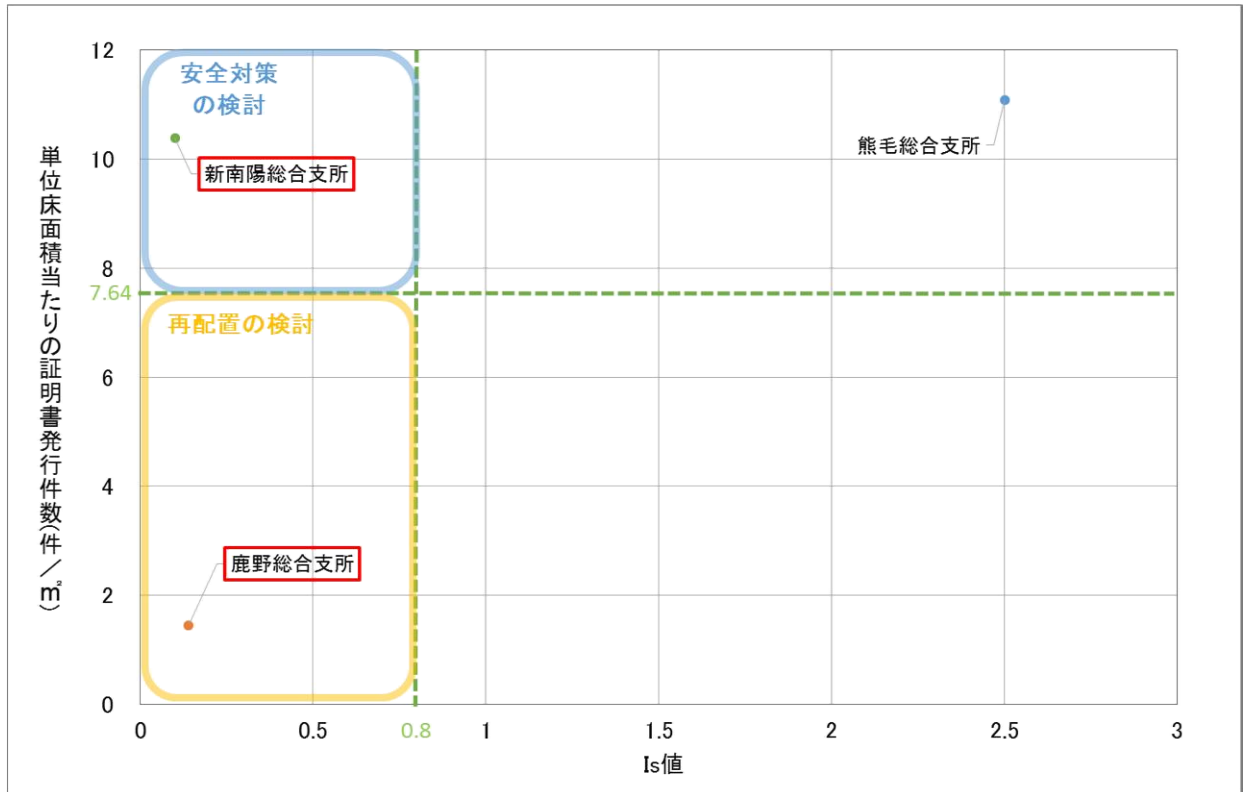
※延床面積のうち分庁舎機能や他団体に貸し付けている面積を除いて判定を行う。

以下に記載する施設については、赤い枠線で示しています。

- ・新南陽総合支所 ⇒平成 26 年度に新南陽総合支所及び西消防署庁舎整備基本構想を策定
- ・鹿野総合支所 ⇒平成 26 年度に周南市鹿野総合支所施設整備基本方針を策定

【総合支所(耐震性能(Is 値))】

指標名	内容
単位床面積当たりの 証明書発行件数 (件/㎡)	年間証明書発行件数÷延床面積 サービス水準：7.64 (件/㎡)
Is 値	耐震基準を表す値で、値が大きくなるほど耐震性能が高い。 安全の判定基準： (一次診断) Is 値 $\geq$ 0.8



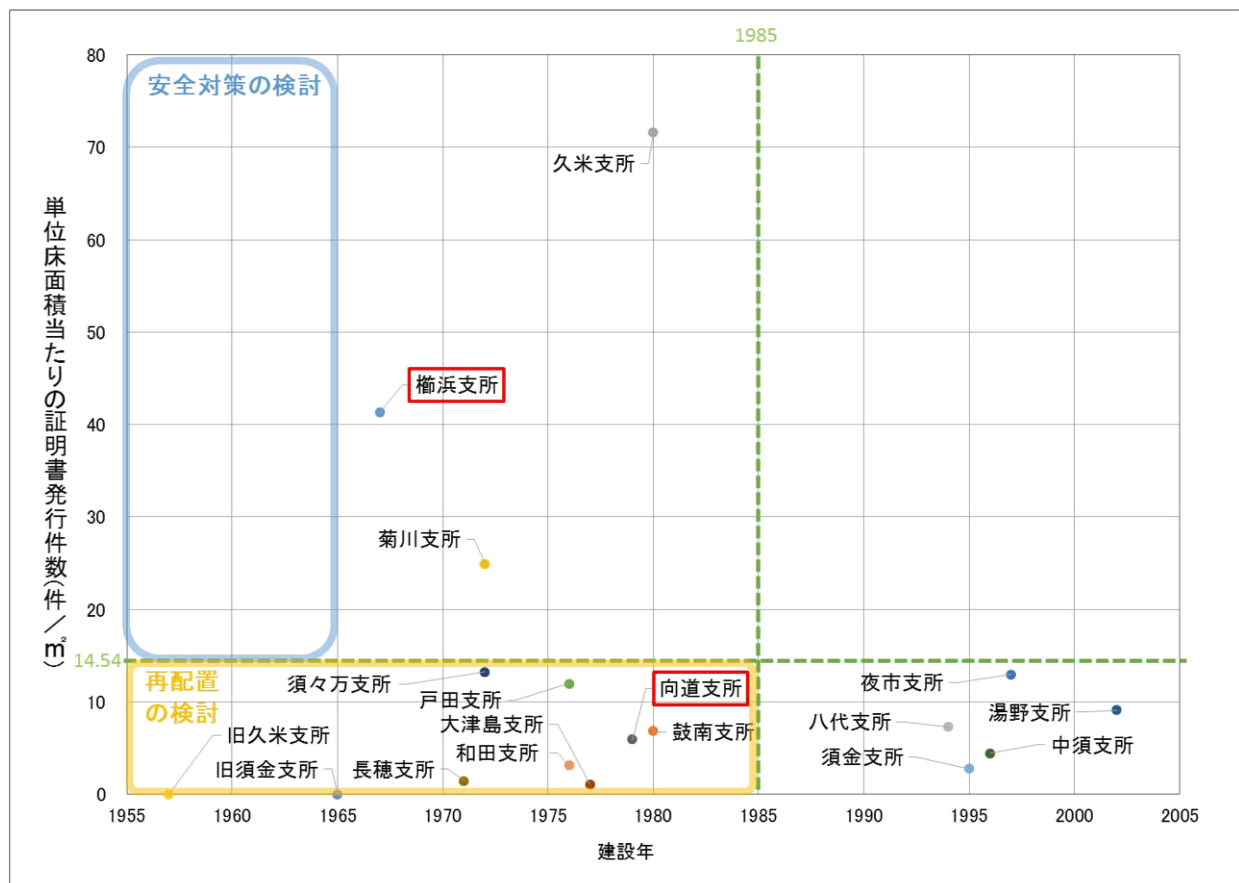
※延床面積のうち分庁舎機能や他団体に貸し付けている面積を除いて判定を行う。

以下に記載する施設については、赤い枠線で示しています。

- ・新南陽総合支所 ⇒平成 26 年度に新南陽総合支所及び西消防署庁舎整備基本構想を策定
- ・鹿野総合支所 ⇒平成 26 年度に周南市鹿野総合支所施設整備基本方針を策定

【支所(建築経過年)】

指標名	内容
単位床面積当たりの 証明書発行件数 (件/㎡)	年間証明書発行件数÷延床面積 サービス水準：14.54 (件/㎡)
建設年	建物の建設年 ※建物が建設された時点からの経過年数で安全性を評価 安全性水準： 安全対策の検討：建設後 50 年以上経過している施設（1965 年） 再配置の検討：建設後 30 年以上経過している施設（1985 年）



※旧久米支所、旧須金支所については、証明書発行を行っていないため、サービス水準の計算から外す。

以下に記載する施設については、赤い枠線で示しています。

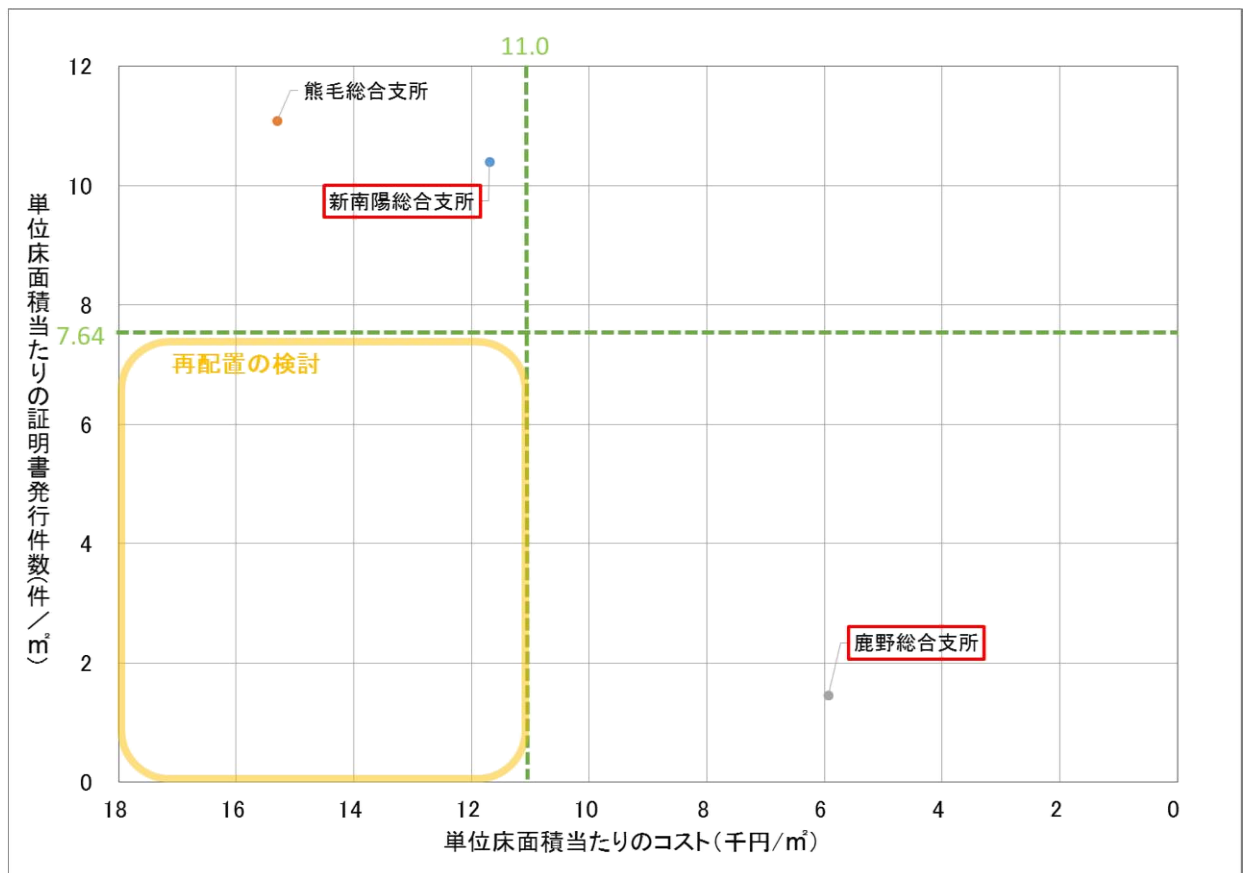
- ・榎浜支所 ⇒ 榎浜公民館とともに建て替え中
- ・向道支所 ⇒ 平成 26 年度に地域拠点施設「大道理夢求（むく）の里交流館」へ複合化

(2) サービスの方向性

- ・「既存の提供サービスを継続させることが妥当か」という視点

【総合支所】

指標名	内容
単位床面積当たりの証明書発行件数（件/㎡）	年間証明書発行件数÷延床面積 サービス水準：7.64（件/㎡）
単位床面積当たりのコスト（千円/㎡）	単位床面積当たりの支出額 ※公共施設を保持するために必要となる費用の合計 効率性水準：単位床面積当たりのコスト（11.0 千円/㎡）



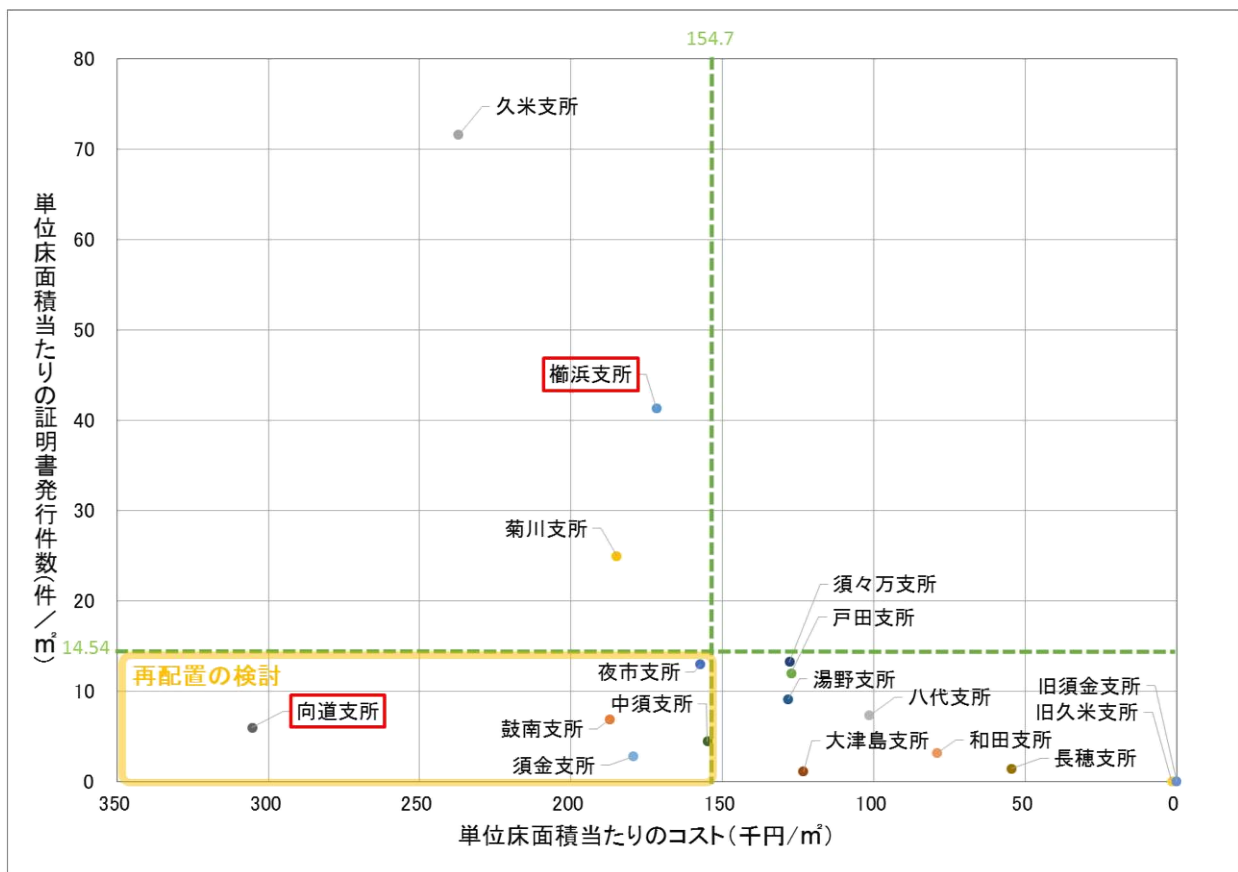
※延床面積のうち分庁舎機能や他団体に貸し付けている面積を除いて判定を行う。

以下に記載する施設については、赤い枠線で示しています。

- ・新南陽総合支所 ⇒平成 26 年度に新南陽総合支所及び西消防署庁舎整備基本構想を策定
- ・鹿野総合支所 ⇒平成 26 年度に周南市鹿野総合支所施設整備基本方針を策定

【支所】

指標名	内容
単位床面積当たりの 証明書発行件数 (件/㎡)	年間証明書発行件数÷延床面積 サービス水準：14.54 (件/㎡)
単位床面積当たりの コスト (千円/㎡)	単位床面積当たりの支出額 ※公共施設を保持するために必要となる費用の合計 効率性水準：単位床面積当たりのコスト (154.7 千円/㎡)



※旧久米支所、旧須金支所については、証明書発行を行っていないため、閾値の計算から外す。

以下に記載する施設については、赤い枠線で示しています。

- ・櫛浜支所 ⇒ 櫛浜公民館とともに建て替え中
- ・向道支所 ⇒ 平成 26 年度に地域拠点施設「大道理夢求（むく）の里交流館」へ複合化

(3) 優先的に検討すべき施設

【優先的に検討すべき施設の抽出結果】

- ・◎：全 25 施設中、5 施設
- ・○：全 25 施設中、1 施設
- ・△：全 25 施設中、3 施設
- ・▲：全 25 施設中、2 施設

記号の見かたは 75 ページ参照（優先度：◎＞○＞△＞▲）

【本庁舎・分庁舎】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービスの 方向性	建物の方向性		
			建設年	Is 値		建設年	Is 値	
1	市役所本庁舎	有	-	-	-	-	-	-
2	教育委員会庁舎	有	-	-	-	-	-	-
3	徳山港町庁舎	有	-	-	-	-	-	-
4	徳山港町分庁舎	有	-	-	-	-	-	-
5	上下水道局庁舎	有	-	-	-	-	-	-

【総合支所】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービ スの方向性	建物の方向性		
			建設年	Is 値		建設年	Is 値	
6	新南陽総合支所	有	-	-	-	-	-	-
7	熊毛総合支所							
8	鹿野総合支所	有	-	-	-	-	-	-

【支所】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価	総合 評価 (最終)
			建物の方向性		サービス の方向性	建物の方向性			
			建設年	Is 値		建設年	Is 値		
9	櫛浜支所	有	-	-	-	-	-	-	-
10	鼓南支所		該当		該当			○	○
11	久米支所								
12	菊川支所								◎
13	夜市支所				該当			▲	
14	戸田支所		該当					△	◎
15	湯野支所								
16	大津島支所		該当					△	△
17	長穂支所		該当					△	◎
18	須々万支所		該当					△	◎
19	中須支所				該当			▲	▲
20	須金支所				該当			▲	▲
21	和田支所		該当					△	◎
22	八代支所								
23	旧久米支所		該当					△	△
24	旧須金支所		該当					△	△
25	(新規)向道支所(大道理夢求の里交流館内)								
解体	旧向道支所(H26解体)	有	-	-	-	-	-	-	-

※抽出された総合評価に出先機関再配置プロジェクトチームの検討結果を反映させたものを総合評価（最終）として示している。

8.2 市民交流施設

8.2.1 施設概要と課題等

(1) 市民交流センター等

市民交流センター等は 66 施設を整備しています。(交流センター2 施設、コミュニティセンター6 施設、公民館 41 施設、農村環境改善センター2 施設、農林業集会所 2 施設、隣保館 4 施設、教育集会所 4 施設、その他 5 施設)

本市の生涯学習の拠点となり、誰もが気軽に集い、交流を深め、楽しく学ぶことができる複合施設、学び・交流プラザを平成 26 年度に整備しました。

須々万、須金の支所併設公民館は、農村環境改善センターと近接・併設されており、支所長が公民館長とセンター所長を兼務するなど、施設が一体的に管理されています。

表 8-2 施設一覧表(市民交流施設 市民交流センター等)1/2

No.	現在所有する施設	所在地区	建築年次	延床面積(㎡)
1	市民交流センター	徳山	1969	3,024
2	西部市民交流センター	富田西	1985	198
3	向道湖ふれあいの家	大向	1993	315
4	櫛浜コミュニティセンター	櫛浜	1980	675
5	富田東地区コミュニティセンター	富田東	1994	606
6	地域交流センター(ほのぼの会館)	富田西	1996	682
7	福川地区コミュニティセンター	福川	2002	407
8	福川南地区コミュニティセンター	福川南	1995	506
9	中央公民館	徳山	1966	347
10	大津公民館	大津島	1979	244
11	馬島公民館	大津島	1973	336
12	戸田公民館	戸田	1976	471
13	戸田四郎谷公民館	戸田	1958	128
14	戸田津木公民館	戸田	1987	156
15	菊川公民館	菊川	1972	537
16	菊川公民館富岡分館	菊川	1976	170
17	菊川公民館加見分館	菊川	1976	170
18	夜市公民館	夜市	1997	560
19	湯野公民館	湯野	2002	628
20	大島公民館	鼓南	1980	353
21	櫛浜公民館	櫛浜	1967	466
22	大向公民館	大向	1979	404
23	久米公民館	久米	1980	640
24	今宿公民館	今宿	1970	597
25	今宿公民館西松原分館	今宿	1979	259
26	小畑公民館	菊川	1989	355
27	四熊公民館	菊川	1975	341
28	粕島公民館	鼓南	1973	382
29	須金公民館	須金	1965	331
30	中須公民館	中須	1996	567
31	須々万公民館	須々万	1972	396

表 8-3 施設一覧表(市民交流施設 市民交流センター等)2/2

No.	現在所有する施設	所在地区	建築年次	延床面積(㎡)
32	長穂公民館	長穂	1971	1,063
33	岐山公民館	岐山	1970	498
34	遠石公民館	遠石	1970	485
35	中央地区公民館	徳山	1992	616
36	中央地区公民館(別館)	徳山	1971	515
37	周陽公民館	周陽	1978	670
38	秋月公民館	秋月	1981	617
39	桜木公民館	桜木	1982	581
40	福川公民館	福川	1990	606
41	和田公民館	和田	1970	528
42	熊毛公民館	勝間	2001	1,285
43	高水公民館	高水	1981	689
44	高水ふれあいセンター	高水	1999	265
45	大河内公民館	大河内	1979	565
46	三丘徳修館	三丘	1990	727
47	勝間ふれあいセンター	勝間	1995	1,062
48	鶴いこいの里交流センター	八代	1994	2,281
49	須野河内交流館	八代	1979	134
50	須々万農村環境改善センター	須々万	1990	929
51	須金農村環境改善センター	須金	1995	699
52	高瀬集会所	和田	1990	153
53	馬神集会所	和田	1992	183
54	尚白園	今宿	1971	451
55	東福祉館	久米	1972	544
56	川崎会館	富田東	1971	542
57	高水会館	高水	1966	357
58	御山集会所	今宿	1977	126
59	西殿木原集会所	須々万	1964	168
60	平井集会所	久米	1979	130
61	明石集会所	富田東	1979	101
62	ゆめプラザ熊毛	勝間	2001	880
63	コアプラザかの	鹿野	1982	3,165
64	中須北交流拠点施設	中須	2008	20
65	コミュニティ倉庫	福川	1997	139
66	(新規)大道理夢求の里交流館	大道理	1985	789
No.	白書時点から削減した施設	所在地区	建築年次	延床面積(㎡)
	大道理公民館(H26 解体)	大道理	1979	321

※鹿野公民館は、施設の利用実態がホール機能のみとなっているためホールとして検討する。

(2) 離島等振興施設

離島等振興施設は、産業の振興や地域振興を進める施設として3つの施設を整備しています。

表 8-4 施設一覧表(市民交流施設 離島等振興施設)

No.	施設名	所在地区	建築年次	延床面積(㎡)
67	大津島ふれあいセンター	大津島	1991	730
68	大津島海の郷	大津島	2013	1,037
69	金峰杣の里交流館	鹿野	2006	308

8.2.2 取組み方策の選定

(1) 市民交流センター等

【サービス提供の方向性】

公民館は、再配置の基本方針で、総合支所や支所とともに、地域の拠点となる施設と位置付けており、生涯学習や地域づくりの推進など、現在保有する機能、提供する住民サービスを維持することとしています。

コミュニティセンター、農村環境改善センター、コアプラザかの、ゆめプラザ熊毛などの施設についても、機能、サービスは維持していきます。

これらの施設は、利用の実態が類似することから、地域活動の特性、施設の設置状況や設置目的などを考慮し、機能の集約化を検討するとともに、利用実態が自治会集会所と同様の施設については、地域移譲の可能性も検討します。

また、受益者負担の割合が低い施設については、受益者負担の見直しについても検討します。

【建物の方向性】

公民館については、施設数が多いことを踏まえ、老朽化の度合い、耐震性などを考慮して計画的に整備を図り、同時に予防保全による長寿命化を進めます。その際、複合化（集約化、共用化）について検討します。

また、建築からの経過年数が30年未満で建物が比較的新しく、大規模で、利用状況からスペースに余裕がある施設については、多目的化について検討します。

隣保館は、建築から30年以上経過し、建物が老朽化している施設については、複合化（集約化・共用化）について検討します。

農林業集会所や教育集会所などで利用実態が自治会集会所と同様な施設については、当該施設の大規模改修や更新に合わせて、地元への譲渡も検討することとします。その場合、建築から30年以上経過し、建物が老朽化している施設の整備に係る経費については、現行の自治会集会所に対する補助制度の拡充で対応することを検討します。

【既に決定している計画等】

- ・市民交流センター ⇒（仮称）新徳山駅ビル整備に伴い平成27年度に解体
- ・榑浜コミュニティセンター ⇒新榑浜公民館にコミュニティセンター機能を統合
- ・大道理公民館 ⇒大道理夢求（むく）の里交流館へ機能を複合化（公民館は廃止）
（平成26年度）
- ・榑浜公民館 ⇒榑浜支所とともに建て替え中

【既に一定の方向性を示した施設と、取組み方策】

長穂公民館は、支所併設施設であるため、支所と併せて今後5年間で複合化・多目的化の検討に着手します。

和田公民館は、一体の機能として使用している隣接の和田支所が、今後5年間で複合化（集約化）の検討に着手するため、併せて複合化・多目的化の検討に着手します。

- ・長穂公民館 ⇒平成27年から平成31年で複合化・多目的化の検討に着手
- ・和田公民館 ⇒平成27年から平成31年で複合化・多目的化の検討に着手

(2) 離島等振興施設

【サービス提供の方向性】

大津島ふれあいセンターと体験交流施設大津島海の郷は、いずれも宿泊研修などを通じて交流の場を確保し、離島振興を図る等の目的で設置しています。

こうした機能を持つ施設は今後も維持する必要がありますが、設置目的が重なる部分が多いことから、今後の両施設のあり方について引き続き検討していきます。

金峰杣の里交流館は、農林業の振興と地域振興を目的に設置しています。

【建物の方向性】

検討の中では、建築から 20 年を経過している大津島ふれあいセンターについて、多目的化することも視野に入れます。

【既に決定している計画等】

- ・なし

8.2.3 優先的に検討すべき施設の抽出

(1) 建物の方向性(建築経過年数、耐震性能(IS 値))

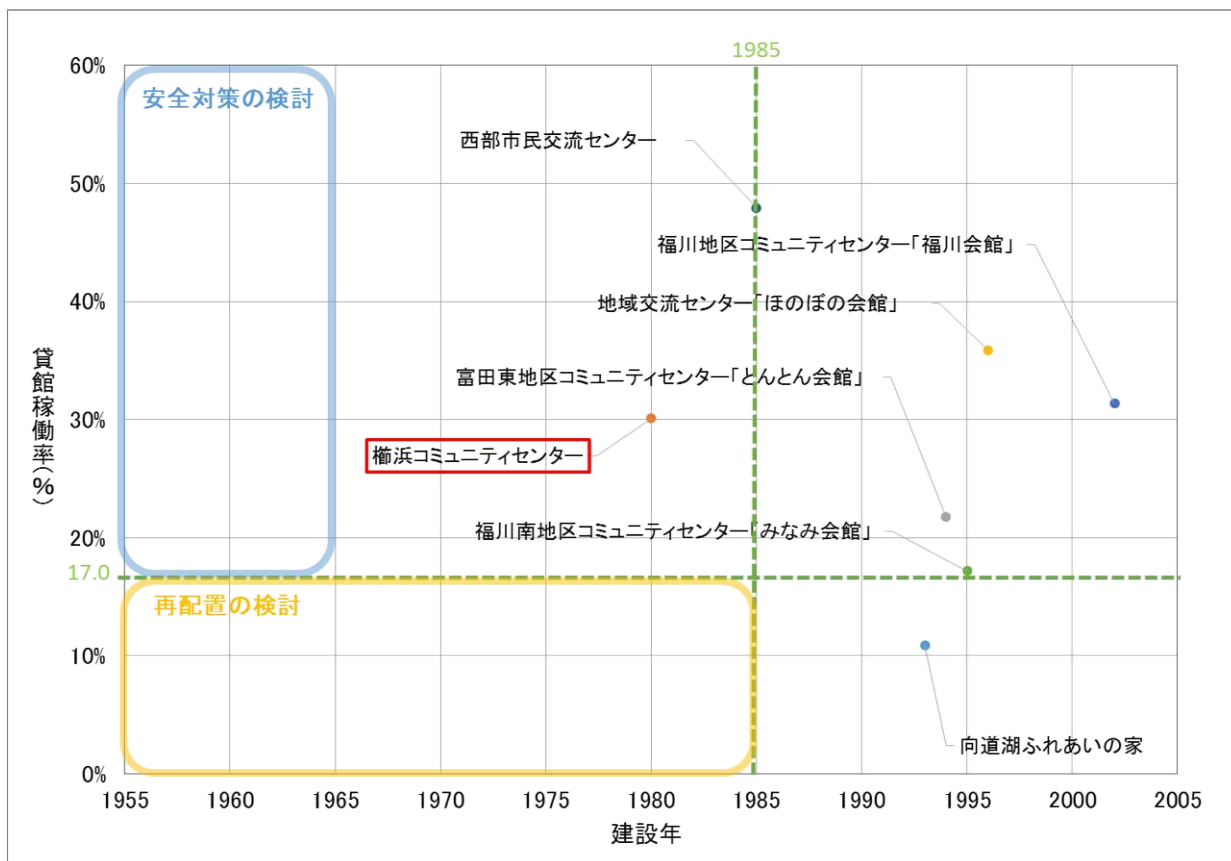
- ・「既存の建物を現状のままサービス提供に利用できるか」という視点。

【市民交流センター】

市民交流センターでは、建物の方向性の観点から、優先的に安全対策の検討を行う必要のある施設はありません。

【コミュニティセンター(建築経過年数)】

指標名	内容
貸館稼働率(%)	稼働率＝利用日数÷供用日数 ※平成 25 年度に実施した 12 回(毎月)の稼働率の平均 サービス水準：関連施設の平均稼働率 ※(17.0%)
建設年	建物の建設年 ※建物が建設された時点からの経過年数で安全性を評価 安全性水準： 安全対策の検討：建設後 50 年以上経過している施設(1965 年) 再配置の検討：建設後 30 年以上経過している施設(1985 年)



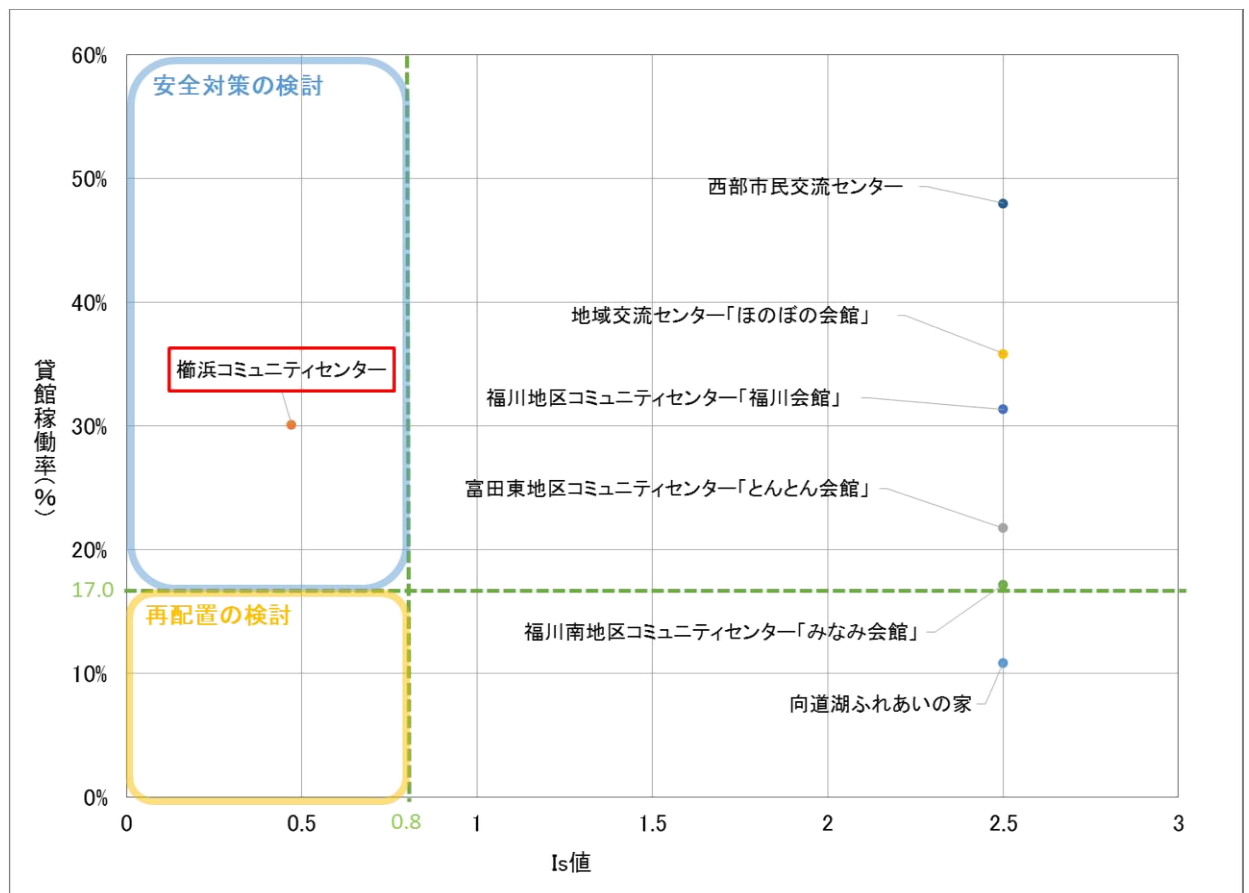
※コミュニティセンターの閾値については、類似したサービスを提供している「公民館」と「農村環境改善センター」の値と通算し、その平均値を用いる。

以下に記載する施設については、赤い枠線で示しています。

- ・榑浜コミュニティセンター ⇒新榑浜公民館にコミュニティセンター機能を統合

【コミュニティセンター(耐震性能(Is値))】

指標名	内容
貸館の稼働率(%)	稼働率＝利用日数÷供用日数 ※平成25年度に実施した12回(毎月)の稼働率の平均 サービス水準：関連施設の平均稼働率 ※(17.0%)
Is 値	耐震基準を表す値で、値が大きくなるほど耐震性能が高い。 安全の判定基準： (一次診断) Is 値≧0.8



※コミュニティセンターの閾値については、類似したサービスを提供している「公民館」と「農村環境改善センター」の値と通算し、その平均値を用いる。

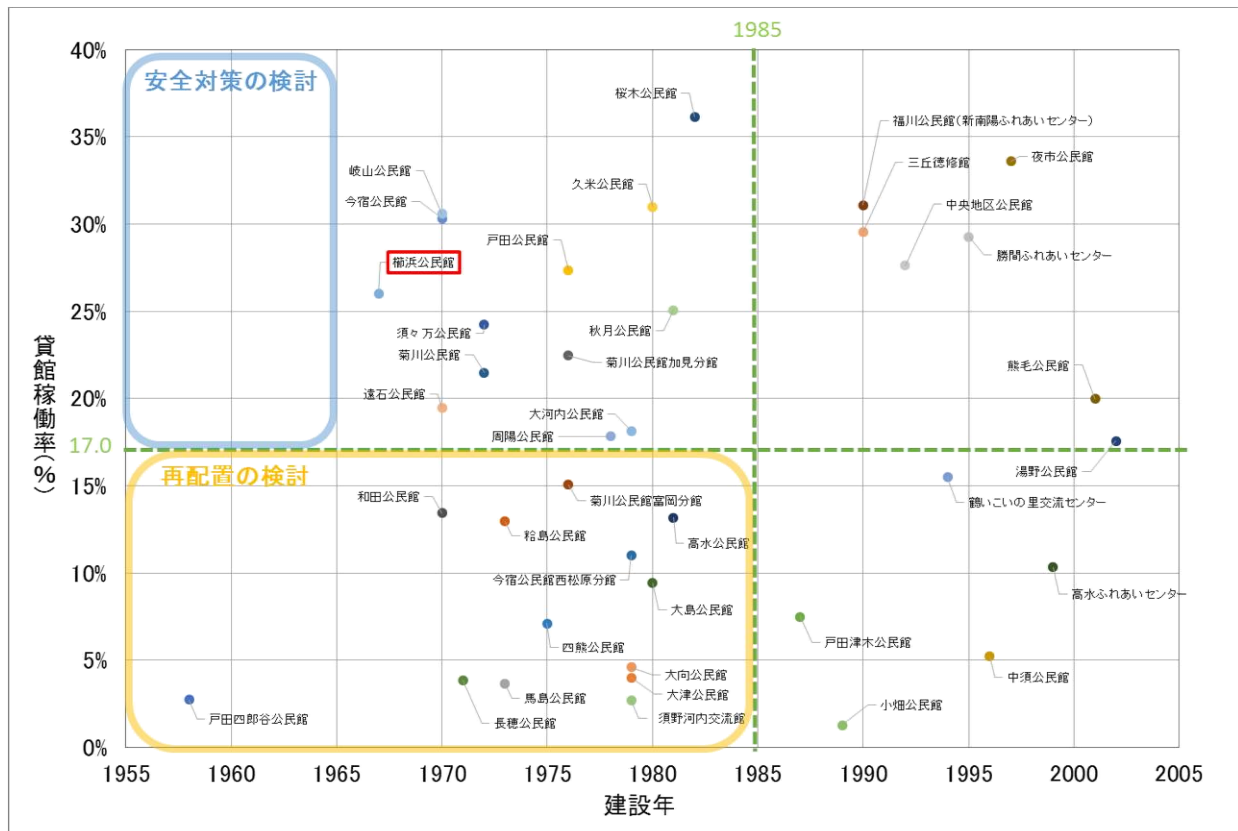
※新耐震基準の施設については、十分な耐震性能を有していると判断し、Is 値を 2.5 として検討する。

以下に記載する施設については、赤い枠線で示しています。

- ・榑浜コミュニティセンター ⇒新榑浜公民館にコミュニティセンター機能を統合

【公民館(建築経過年)】

指標名	内容
貸館の稼働率(%)	稼働率＝利用日数÷供用日数 ※平成25年度に実施した12回(毎月)の稼働率の平均 サービス水準：関連施設の平均稼働率 ※(17.0%)
建設年	建物の建設年 ※建物が建設された時点からの経過年数で安全性を評価 安全性水準： 安全対策の検討：建設後50年以上経過している施設(1965年) 再配置の検討：建設後30年以上経過している施設(1985年)



※中央公民館、須金公民館は貸館業務を行っていないため、検討の対象外とする。

※大道理公民館は公民館機能が大道理夢求の里に移行されたため、検討の対象外とする。

※福川公民館の貸館の稼働率については、新南陽ふれあいセンターの全ての貸館の稼働率平均を示す。

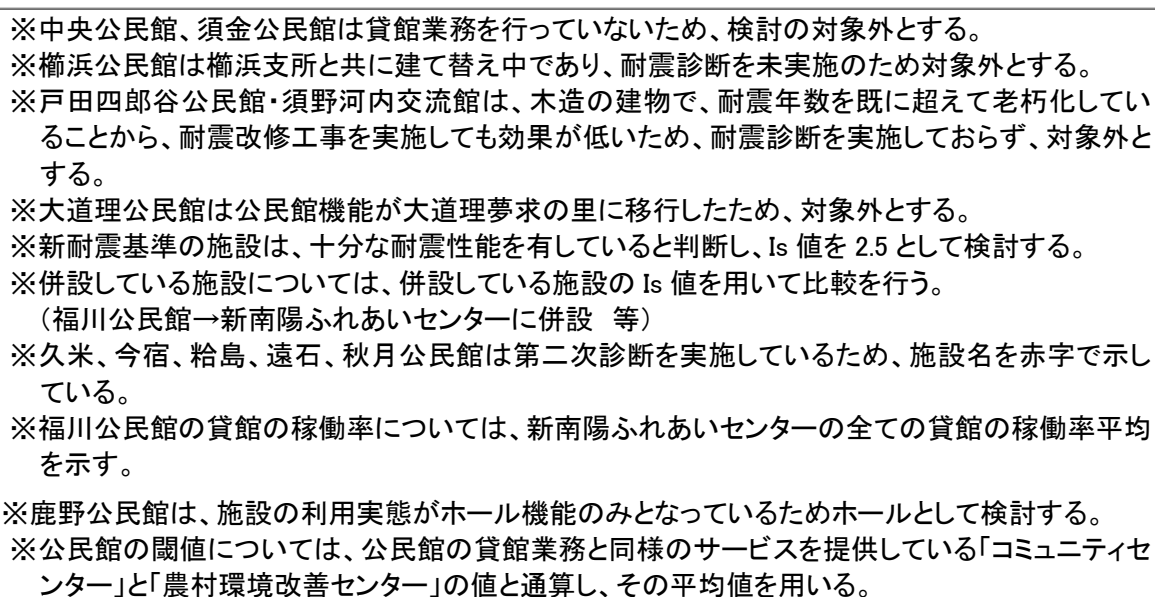
※鹿野公民館は、施設の利用実態がホール機能のみとなっているためホールとして検討する。

※公民館の閾値については、公民館の貸館業務と同類のサービスを提供している「コミュニティセンター」と「農村環境改善センター」の値と通算し、その平均値を用いる。

以下に記載する施設については、赤い枠線で示しています。

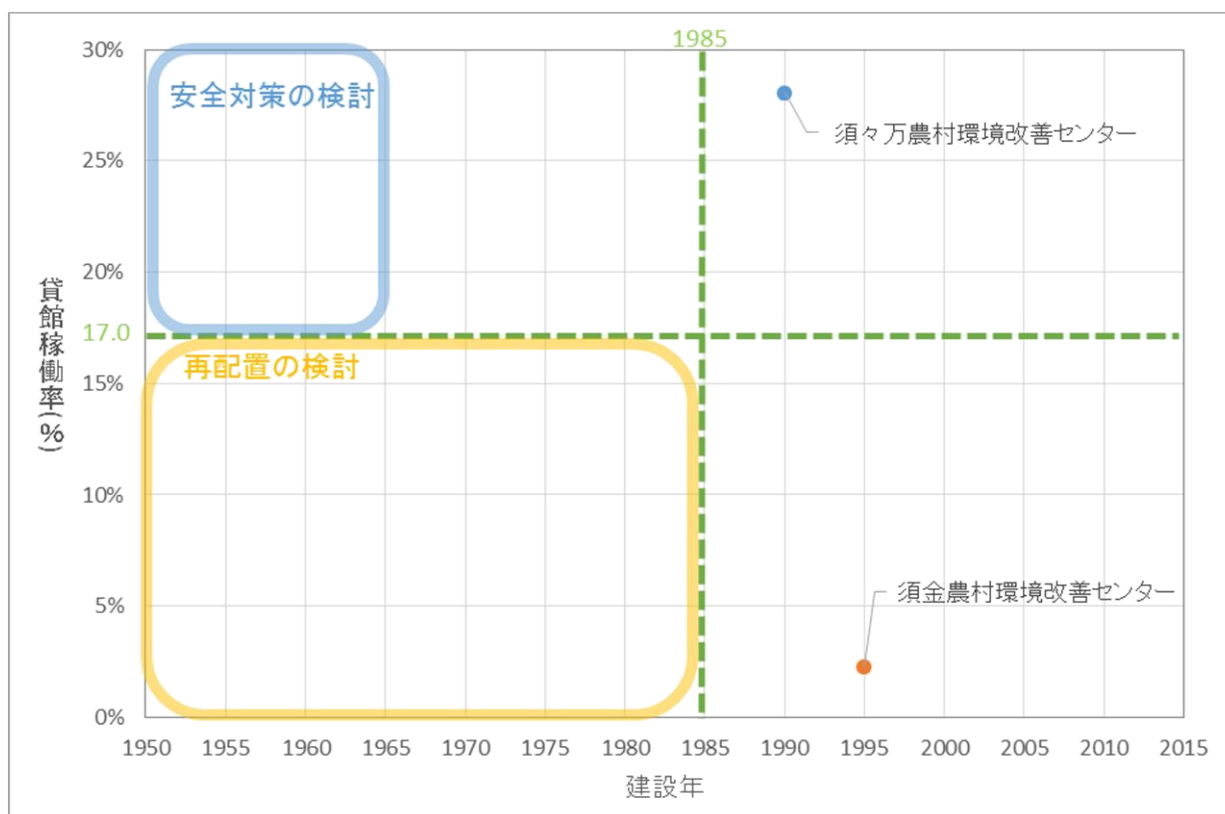
- ・ 櫛浜公民館 ⇒ 櫛浜支所とともに建て替え中

指標名	内容
貸館の稼働率 (%)	稼働率＝利用日数÷供用日数 ※平成 25 年度に実施した 12 回（毎月）の稼働率の平均 サービス水準：関連施設の平均稼働率 ※（17.0%）
Is 値	耐震基準を表す値で、値が大きくなるほど耐震性能が高い。 安全の判定基準： （一次診断）Is 値≥0.8 （二次診断）：Is 値≥0.6



【農村環境改善センター(建築経過年)】

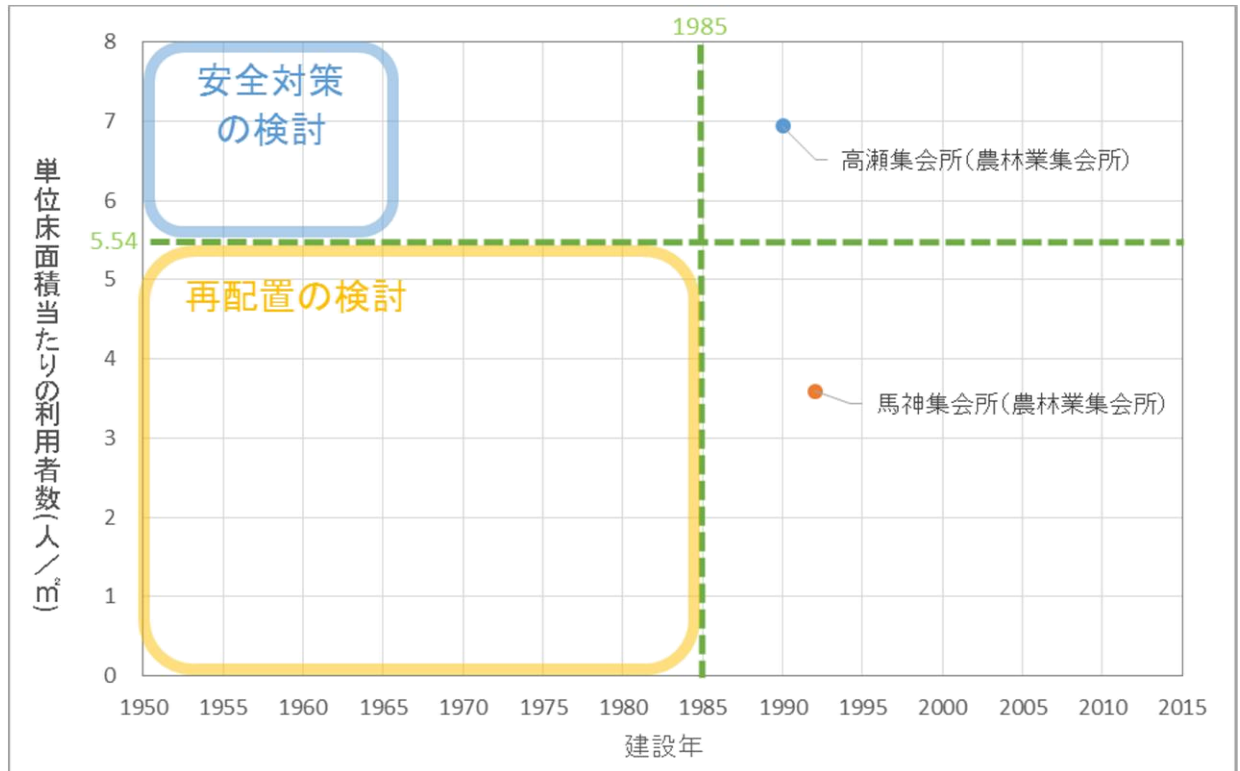
指標名	内容
貸館の稼働率(%)	稼働率＝利用日数÷供用日数 ※平成 25 年度に実施した 12 回(毎月)の稼働率の平均 サービス水準：関連施設の平均稼働率 ※(17.0%)
建設年	建物の建設年 ※建物が建設された時点からの経過年数で安全性を評価 安全性水準： 安全対策の検討：建設後 50 年以上経過している施設(1965 年) 再配置の検討：建設後 30 年以上経過している施設(1985 年)



※農村環境改善センターの閾値については、農村環境改善センターの貸館業務と同類のサービスを提供している「公民館」と「コミュニティセンター」の値と通算し、その平均値を用いる。

【農林業集会所(建築経過年)】

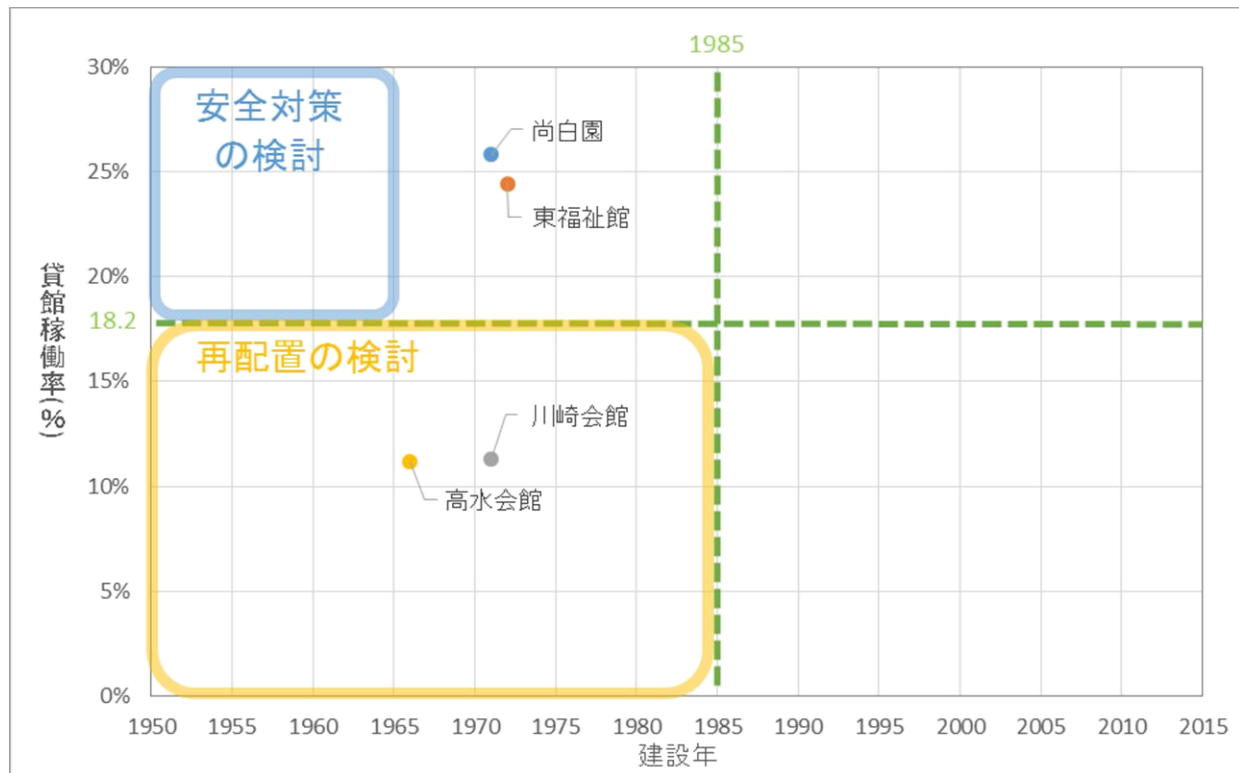
指標名	内容
単位床面積当たりの利用者数(人/㎡)	利用者数÷延床面積 サービス水準：関連施設の単位床面積当たりの利用者数 ※(5.54 人/㎡)
建設年	建物の建設年 ※建物が建設された時点からの経過年数で安全性を評価 安全性水準： 安全対策の検討：建設後 50 年以上経過している施設(1965 年) 再配置の検討：建設後 30 年以上経過している施設(1985 年)



※農林業集会所の閾値については、同類のサービスを提供している「教育集会所」、「老人憩の家」の値と通算し、その平均値を用いる。

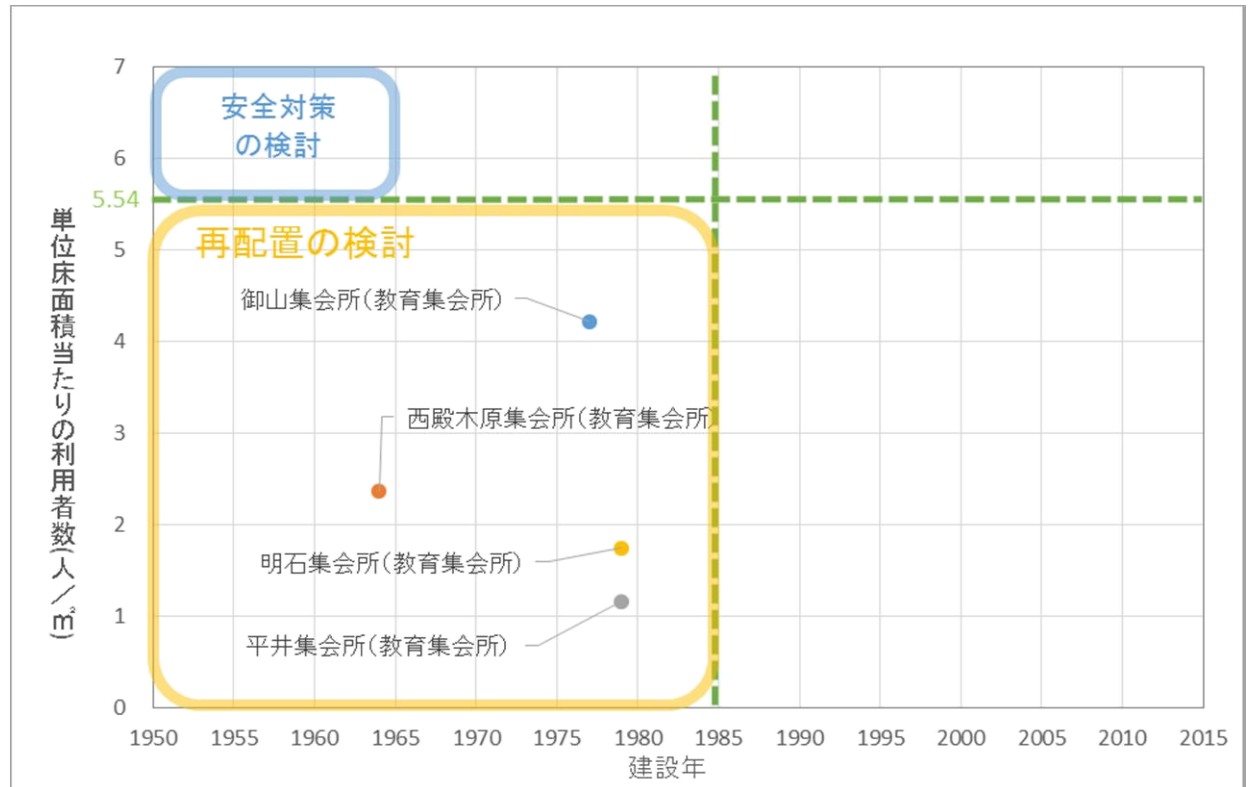
【隣保館(建築経過年)】

指標名	内容
貸館の稼働率(%)	稼働率＝利用日数÷供用日数 ※平成 25 年度に実施した 12 回(毎月)の稼働率の平均 サービス水準：18.2%
建設年	建物の建設年 ※建物が建設された時点からの経過年数で安全性を評価 安全性水準： 安全対策の検討：建設後 50 年以上経過している施設(1965 年) 再配置の検討：建設後 30 年以上経過している施設(1985 年)



【教育集会所(建築経過年)】

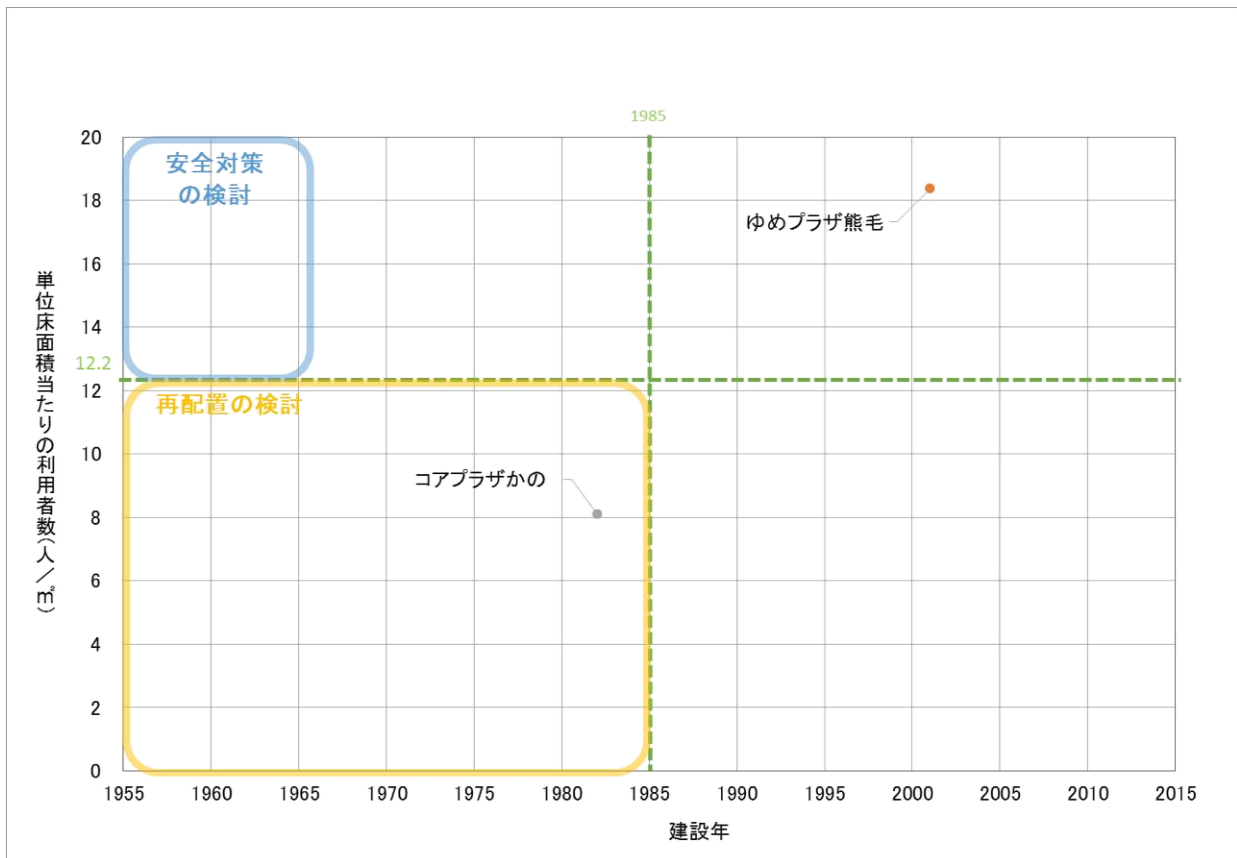
指標名	内容
単位床面積当たりの利用者数(人/㎡)	利用者数÷延床面積 サービス水準：関連施設の平均単位床面積当たりの利用者数 ※(5.54 人/㎡)
建設年	建物の建設年 ※建物が建設された時点からの経過年数で安全性を評価 安全性水準： 安全対策の検討：建設後 50 年以上経過している施設(1965 年) 再配置の検討：建設後 30 年以上経過している施設(1985 年)



※教育集会所の閾値については、同類のサービスを提供している「農林業集会所」、「老人憩の家」の値と通算し、その平均値を用いる。

【市民交流施設その他(建築経過年)】

指標名	内容
単位床面積当たりの利用者数（人/㎡）	単位床面積当たりの利用者数＝利用者数÷延床面積 サービス水準：関連施設の平均 ※（12.2 人/㎡）
建設年	建物の建設年 ※建物が建設された時点からの経過年数で安全性を評価 安全性水準： 安全対策の検討：建設後 50 年以上経過している施設（1965 年） 再配置の検討：建設後 30 年以上経過している施設（1985 年）

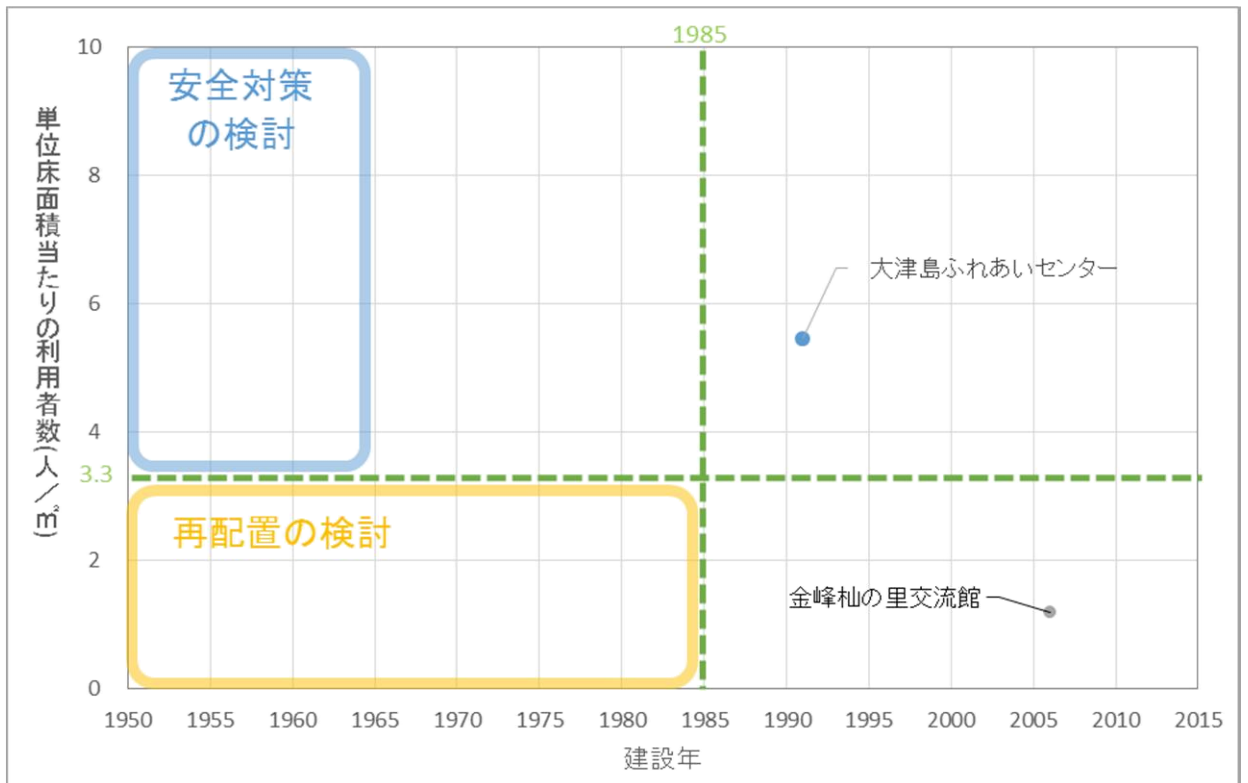


※市民交流施設その他の閾値については、同様のサービスを提供している「コアプラザかの」、「ゆめプラザ熊毛」、「熊毛勤労者総合福祉センター」、「新南陽ふれあいセンター」、「勤労福祉センター・徳山勤労青少年ホーム」の値と通算し、その平均値を用いる。

※中須北交流拠点施設、コミュニティ倉庫は利用形態が大きく異なるため、検討対象外とする。

【離島等振興施設(建築経過年)】

指標名	内容
単位床面積当たりの利用者数(人/㎡)	単位床面積当たりの利用者数＝利用者数÷延床面積 サービス水準：関連施設の平均 ※ (3.3 人/㎡)
建設年	建物の建設年 ※建物が建設された時点からの経過年数で安全性を評価 安全性水準： 安全対策の検討：建設後 50 年以上経過している施設 (1965 年) 再配置の検討：建設後 30 年以上経過している施設 (1985 年)



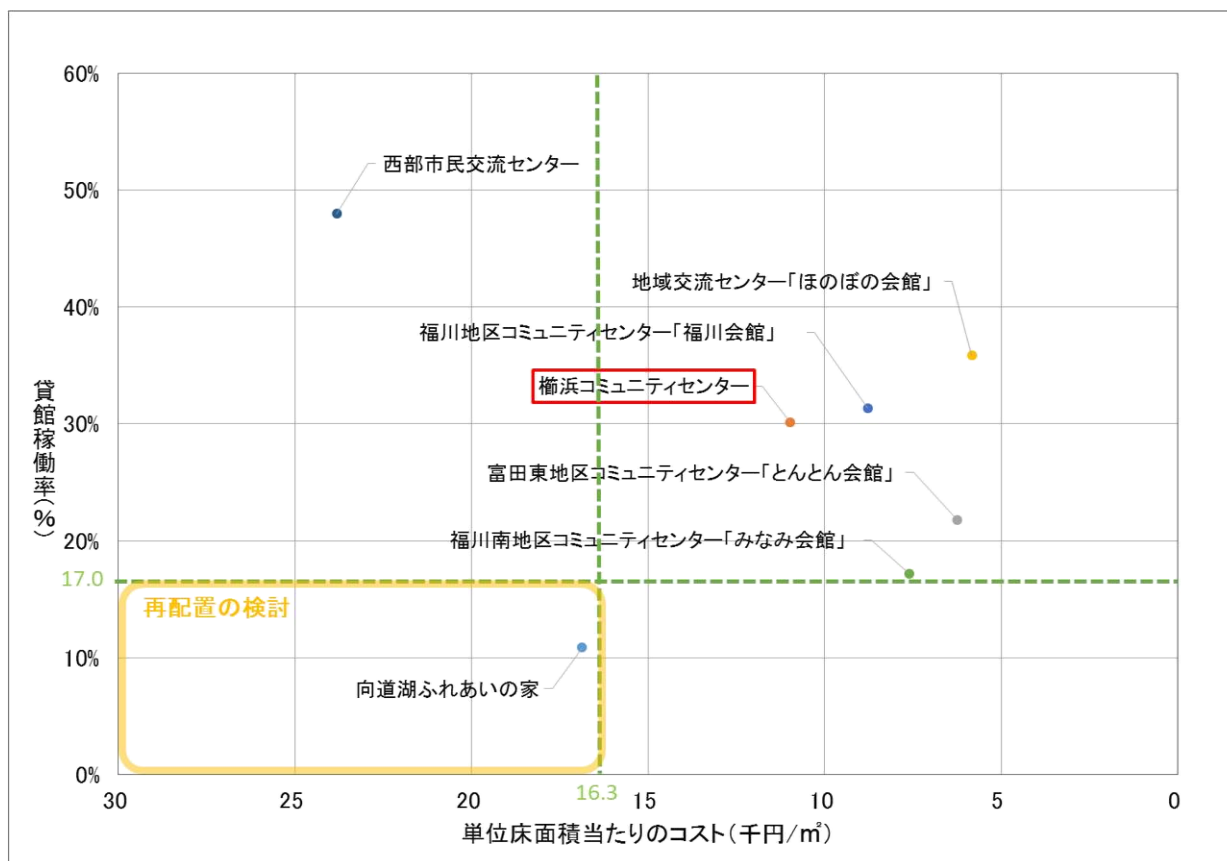
※大津島海の郷については、平成25年4月供用開始のため、検討から除外する。

(2) サービスの方向性

- ・「既存の提供サービスを継続させることが妥当か」という視点

【コミュニティセンター】

指標名	内容
貸館の稼働率 (%)	稼働率＝利用日数÷供用日数 ※平成 25 年度に実施した 12 回（毎月）の稼働率の平均 サービス水準：関連施設の平均稼働率 ※（17.0%）
単位床面積当たりの コスト (千円/㎡)	単位床面積当たりの支出の合計 ※公共施設の保持するために必要となる費用の合計 効率性水準：単位床面積当たりのコスト (16.3 千円/㎡)



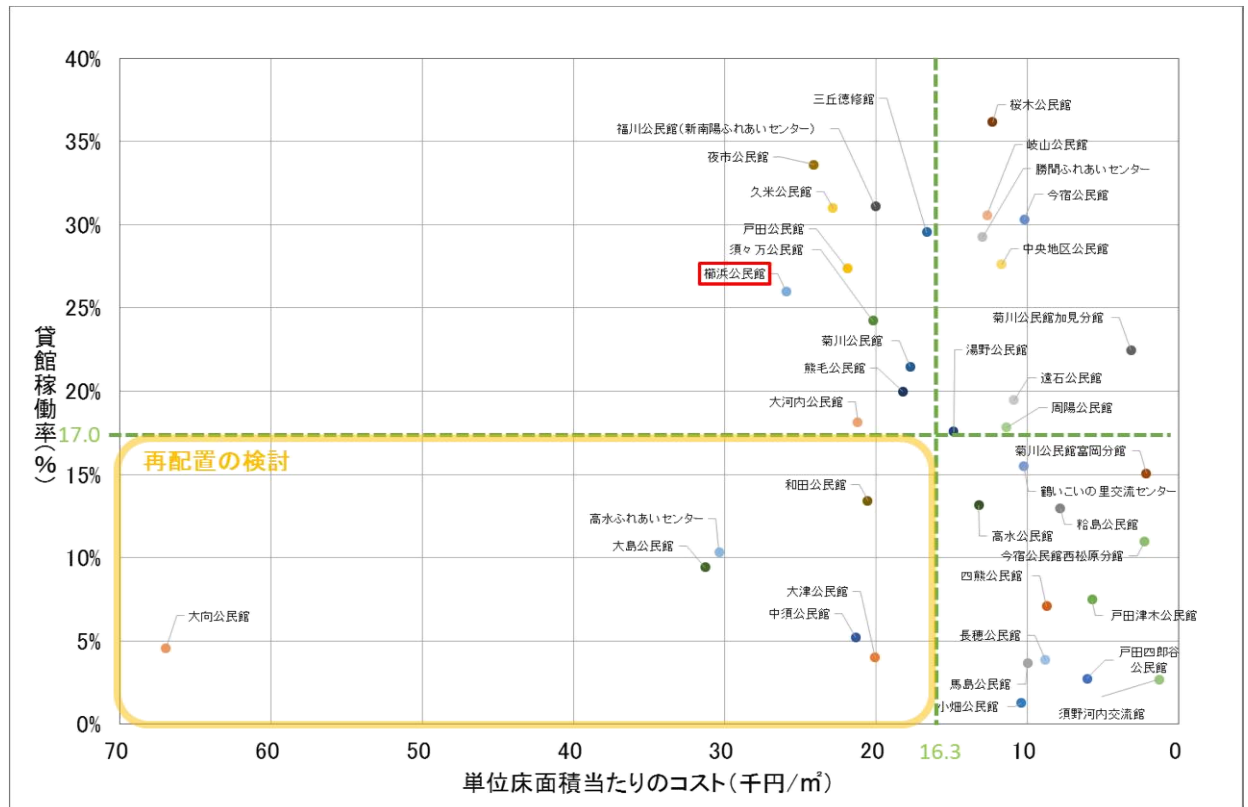
※コミュニティセンターの閾値については、公民館の貸館業務と同類のサービスを提供している「公民館」と「農村環境改善センター」の値と通算し、その平均値を用いる。

以下に記載する施設については、赤い枠線で示しています。

- ・榑浜コミュニティセンター ⇒新榑浜公民館にコミュニティセンター機能を統合

【公民館】

指標名	内容
貸館の稼働率 (%)	稼働率＝利用日数÷供用日数 ※平成 25 年度に実施した 12 回（毎月）の稼働率の平均 サービス水準：関連施設の平均稼働率 ※（17.0%）
単位床面積当たりの コスト (千円/㎡)	単位床面積当たりの支出の合計 ※公共施設を保持するために必要となる費用の合計 効率性水準：平均単位床面積当たりのコスト（16.3 千円/㎡）



※中央公民館、須金公民館は貸館業務を行っていないため、検討の対象外とする。

※中央地区公民館(別館)のコストは把握していないため、検討の対象外とする。

※大道理公民館は公民館機能が大道理夢求の里に移行したため、検討の対象外とする。

※長穂公民館では、1,063 ㎡のうち建物の 3 階部分(256 ㎡)、ペントハウス(38 ㎡)については供用しておらず、立ち入り制限を行っているため、「単位床面積当たりのコスト」の算出に当たっては、1,063 ㎡-294 ㎡=769 ㎡を採用する。

※福川公民館の貸館の稼働率については、新南陽ふれあいセンターの全ての貸館の稼働率平均を示す。

※鹿野公民館は、施設の利用実態がホール機能のみとなっているためホールとして検討する。

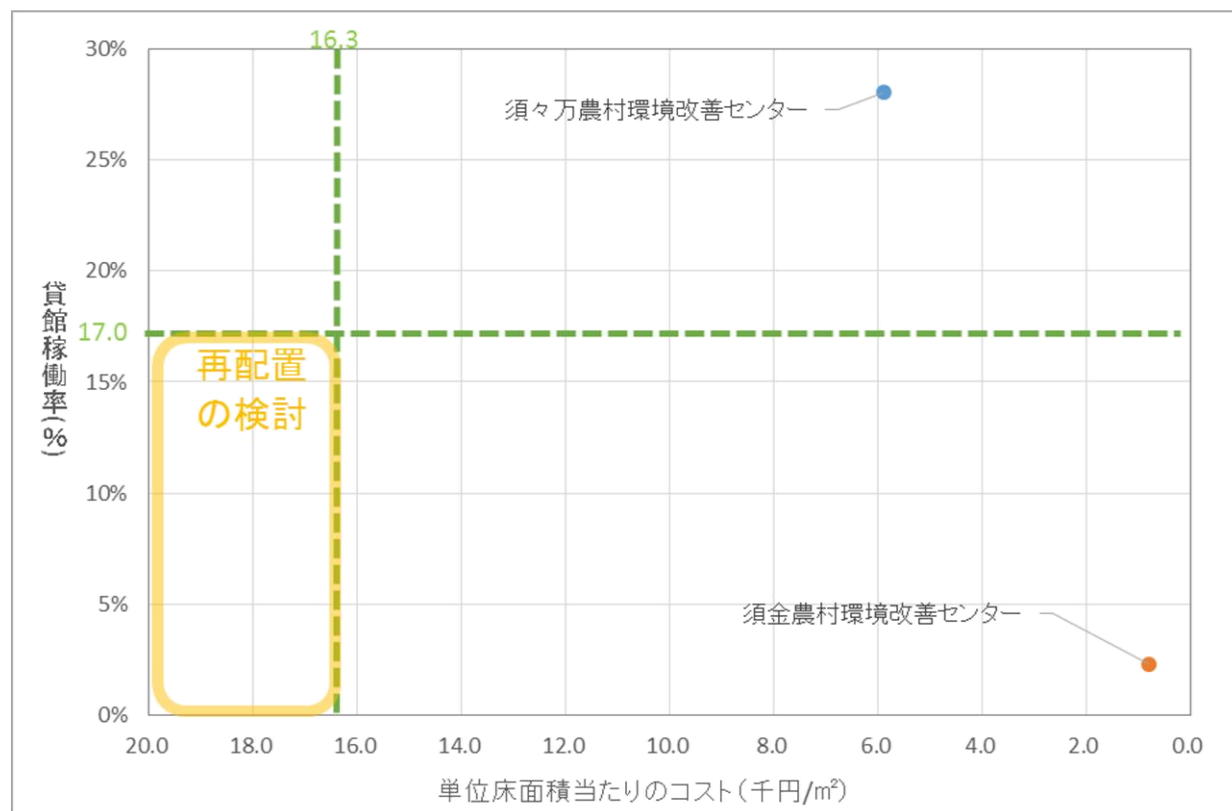
※公民館の閾値については、公民館の貸館業務と同様のサービスを提供している「コミュニティセンター」と「農村環境改善センター」の値と通算し、その平均値を用いる。

以下に記載する施設については、赤い枠線で示しています。

- ・榑浜公民館 ⇒榑浜支所とともに建て替え中

【農村環境改善センター】

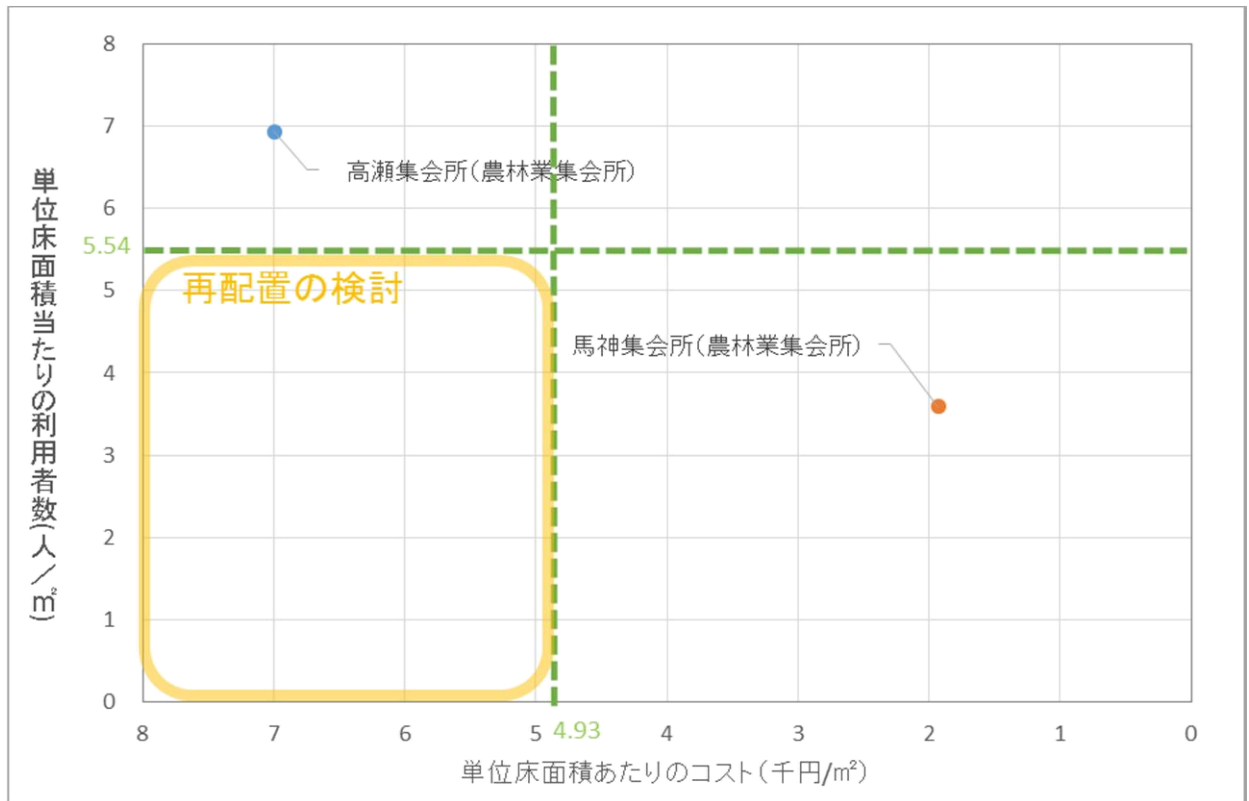
指標名	内容
貸館の稼働率 (%)	稼働率＝利用日数÷供用日数 ※平成 25 年度に実施した 12 回（毎月）の稼働率の平均 サービス水準：関連施設の平均稼働率 ※（17.0%）
単位床面積当たりの コスト (千円/㎡)	単位床面積当たりの支出の合計 ※公共施設の保持するために必要となる費用の合計 効率性水準：平均単位床面積当たりのコスト（16.3 千円/㎡）



※農村環境改善センターの閾値については、農村環境改善センターの貸館業務と同類のサービスを提供している「公民館」と「コミュニティセンター」の値と通算し、その平均値を用いる。

【農林業集会所】

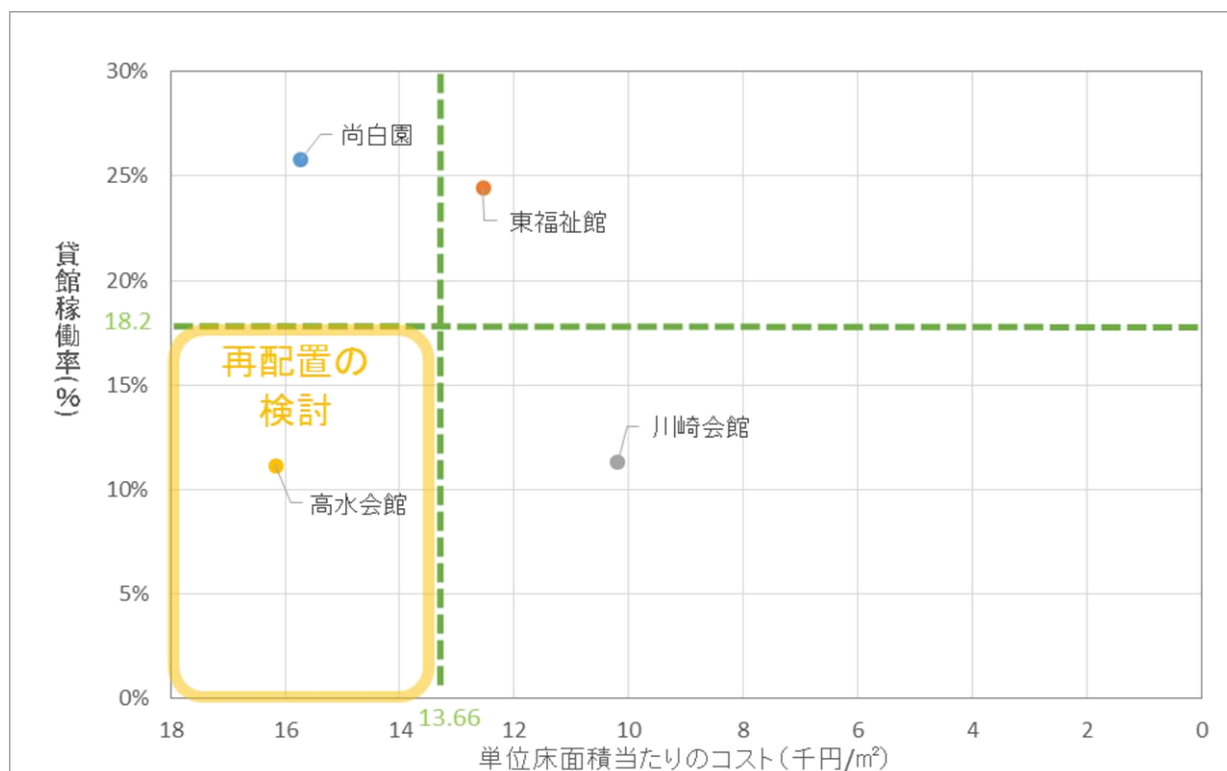
指標名	内容
単位床面積当たりの利用者数（人/㎡）	利用者数÷延床面積 サービス水準：関連施設の平均単位床面積当たりの利用者数 ※（5.54 人/㎡）
単位床面積当たりのコスト（千円/㎡）	単位床面積当たりの支出の合計 ※公共施設の保持するために必要となる費用の合計 効率性水準：平均単位床面積当たりのコスト（4.93 千円/㎡）



※農林業集会所の閾値については、同類のサービスを提供している「教育集会所」、「老人憩の家」の値と通算し、その平均値を用いる。

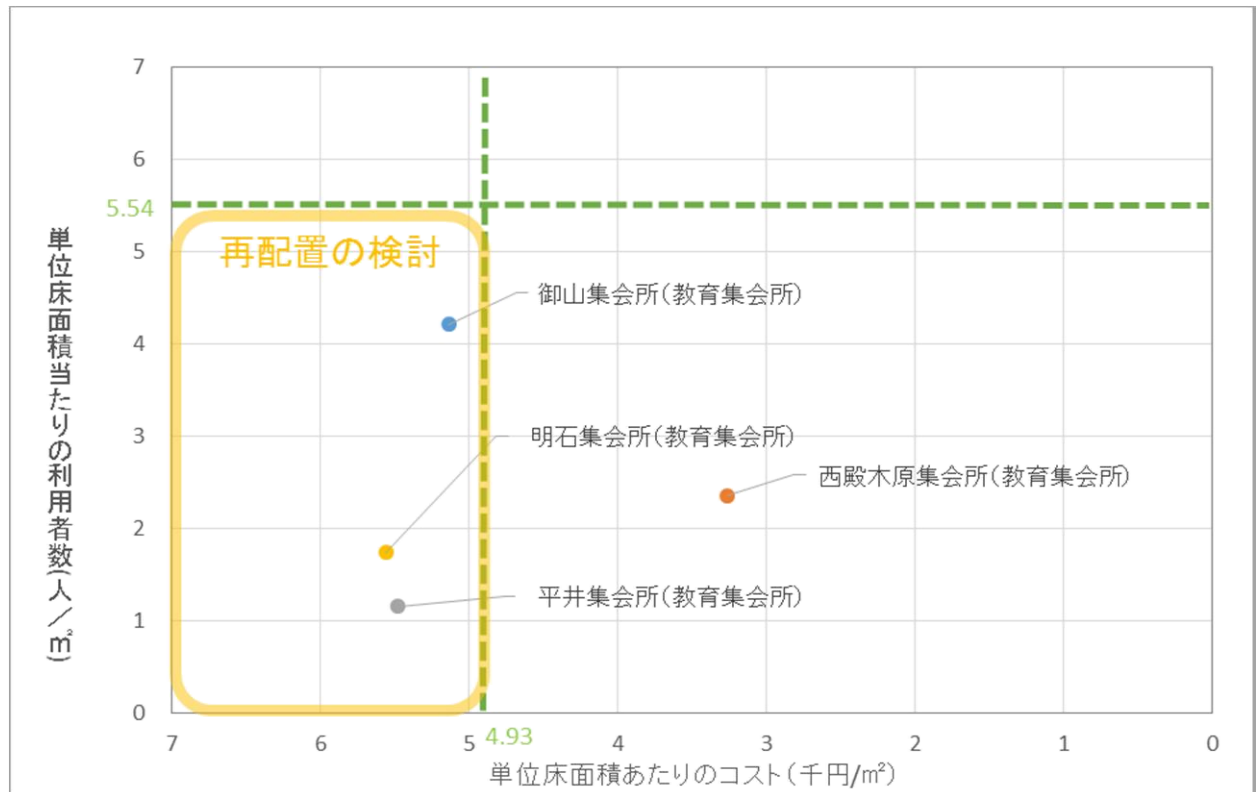
【隣保館】

指標名	内容
貸館の稼働率 (%)	稼働率＝利用日数÷供用日数 ※平成 25 年度に実施した 12 回（毎月）の稼働率の平均 サービス水準：18.2%
単位床面積当たりの コスト (千円/㎡)	単位床面積当たりの支出の合計 ※公共施設の保持するために必要となる費用の合計 効率性水準：平均単位床面積当たりのコスト（13.66 千円/㎡）



【教育集会所】

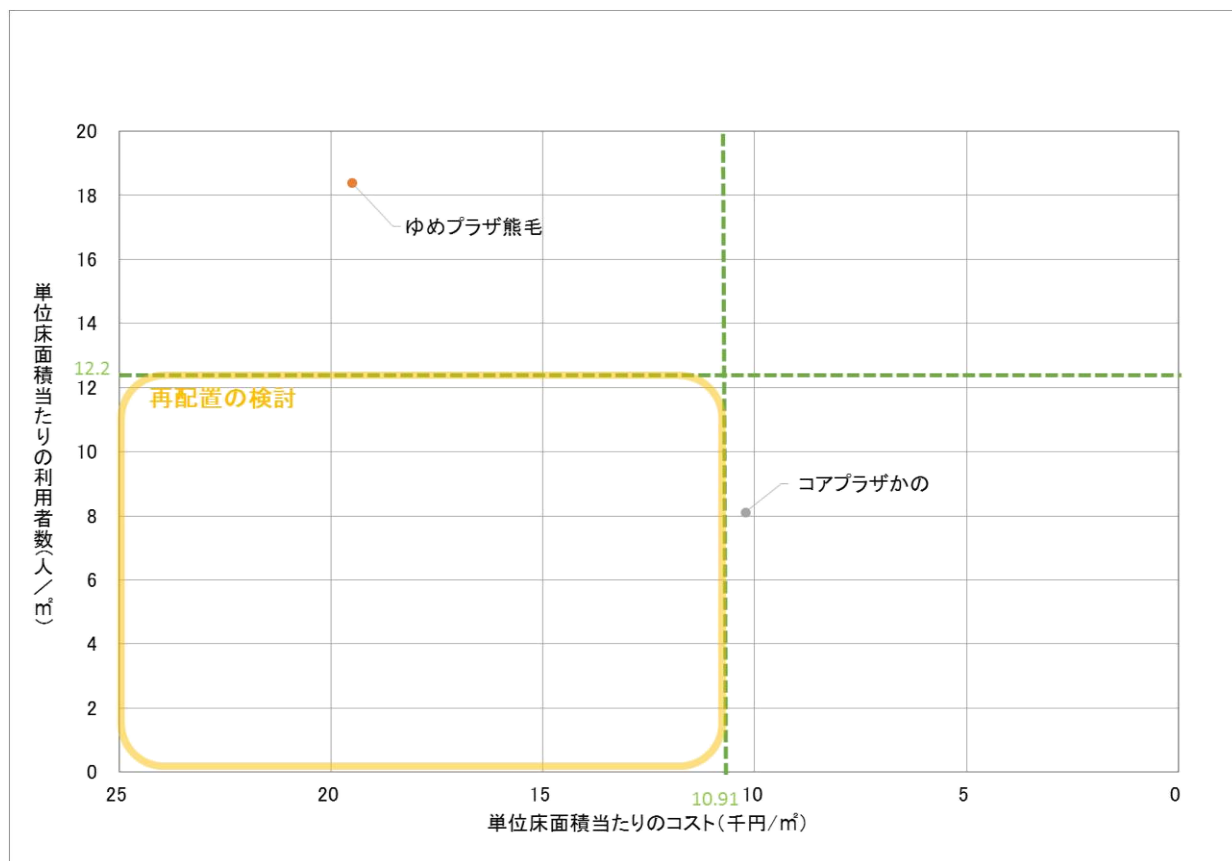
指標名	内容
単位床面積当たりの利用者数（人/㎡）	利用者数÷延床面積 サービス水準：関連施設の平均単位床面積当たりの利用者数 ※（5.54 人/㎡）
単位床面積当たりのコスト（千円/㎡）	単位床面積当たりの支出の合計 ※公共施設の保持するために必要となる費用の合計 効率性水準：単位床面積当たりのコスト（4.93 千円/㎡）



※教育集会所の閾値については、同類のサービスを提供している「農林業集会所」、「老人憩の家」の値と通算し、その平均値を用いる。

【市民交流施設その他】

指標名	内容
単位床面積当たりの利用者数（人/㎡）	利用者数÷延床面積 サービス水準：関連施設の平均単位床面積当たりの利用者数 ※（12.2 人/㎡）
単位床面積当たりのコスト（千円/㎡）	単位床面積当たりの支出の合計 ※公共施設の保持するために必要となる費用の合計 効率性水準：関連施設の平均単位床面積当たりのコスト（10.91 千円/㎡）

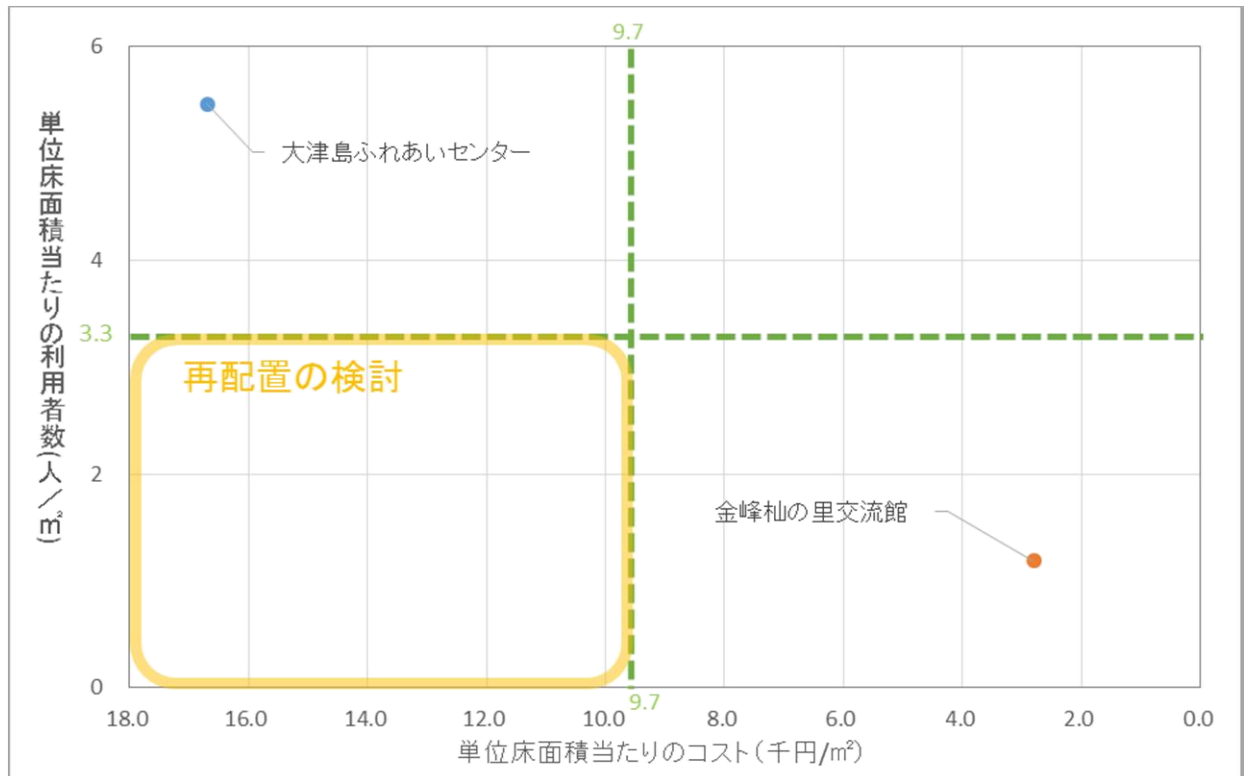


※中須北交流拠点施設、コミュニティ倉庫は利用形態が大きく異なるため、検討対象外とする。

※市民交流施設その他の閾値については、同様のサービスを提供している「コアプラザかの」、「ゆめプラザ熊毛」、「熊毛勤労者総合福祉センター」、「新南陽ふれあいセンター」、「勤労福祉センター・徳山勤労青少年ホーム」の値と通算し、その平均値を用いる。

【離島等振興施設】

指標名	内容
単位床面積当たりの利用者数（人/㎡）	利用者数÷延床面積 サービス水準：関連施設の平均単位床面積当たりの利用者数 ※（3.3 人/㎡）
単位床面積当たりのコスト（千円/㎡）	単位床面積当たりの支出の合計 ※公共施設の保持するために必要となる費用の合計 効率性水準：関連施設の平均単位床面積当たりのコスト（9.7 千円/㎡）



※大津島海の郷については、平成25年4月供用開始のため、検討から除外する。

(3) 優先的に検討すべき施設

【優先的に検討すべき施設の抽出結果】

- ・◎：全 69 施設中、12 施設
- ・○：全 69 施設中、6 施設
- ・△：全 69 施設中、13 施設
- ・▲：全 69 施設中、4 施設

記号の見かたは 75 ページ参照（優先度：◎＞○＞△＞▲）

【市民交流センター】

No.	施設名	具体的計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策の検討を行う施設		総合評価
			建物の方向性		サービスの方向性	建物の方向性		
			建設年	Is 値		建設年	Is 値	
1	市民交流センター	有	-	-	-	-	-	-

【コミュニティセンター】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービス の方向性	建物の方向性		
			建設年	Is 値		建設年	Is 値	
2	西部市民交流センター							
3	向道湖ふれあいの家				該当			▲
4	櫛浜コミュニティセンター	有	-	-	-	-	-	-
5	富田東地区コミュニティセンター							
6	地域交流センター（ほのぼの開館）							
7	福川地区コミュニティセンター							
8	福川南地区コミュニティセンター							

【農村環境改善センター】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービス の方向性	建物の方向性		
			建設年	Is 値		建設年	Is 値	
50	須々万農村環境改善センター							
51	須金農村環境改善センター							

【農林業集会所】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービスの 方向性	建物の方向性		
			建設年	Is値		建設年	Is値	
52	高瀬集会所							
53	馬袖集会所							

【公民館】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価	総合 評価 (最終)
			建物の方向性		サービス の方向性	建物の方向性			
			建設年	Is 値		建設年	Is 値		
9	中央公民館								
10	大津公民館		該当		該当			○	○
11	馬島公民館		該当					△	△
12	戸田公民館						該当	◎	◎
13	戸田四郎谷公民館		該当					△	△
14	戸田津木公民館								
15	菊川公民館						該当	◎	◎
16	菊川公民館富岡分館		該当					△	△
17	菊川公民館加見分館								
18	夜市公民館								
19	湯野公民館								
20	大島公民館		該当		該当			○	○
21	櫛浜公民館	有	-	-	-	-	-	-	
22	大向公民館		該当	該当	該当			◎	◎
23	久米公民館								
24	今宿公民館						該当	◎	◎
25	今宿公民館西松原分館		該当					△	△
26	小畑公民館								
27	四熊公民館		該当					△	△
28	粕島公民館		該当	該当				△	△
29	須金公民館								
30	中須公民館				該当			▲	▲
31	須々万公民館						該当	◎	◎
32	長穂公民館		該当	該当				△	◎
33	岐山公民館						該当	◎	◎
34	遠石公民館						該当	◎	◎
35	中央地区公民館								
36	中央地区公民館(別館)								
37	周陽公民館		該当				該当	◎	◎
38	秋月公民館						該当	◎	◎
39	桜木公民館								
40	福川公民館								
41	和田公民館		該当	該当	該当			◎	◎
42	熊毛公民館								
43	高水公民館		該当					△	△
44	高水ふれあいセンター				該当			▲	▲
45	大河内公民館						該当	◎	◎
46	三丘徳修館								
47	勝間ふれあいセンター								
48	鶴いこいの里交流センター								
49	須野河内交流館		該当					△	△
解体	大道理公民館	有	-	-	-	-	-	-	

※長穂公民館については、出先機関再配置プロジェクトチームの検討結果を踏まえ、土砂災害特別警戒区域に立地していることから、最優先(「◎」)としている。

※鹿野公民館は、施設の利用実態がホール機能のみとなっているためホールとして検討する。

【隣保館】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービスの 方向性	建物の方向性		
			建設年	Is 値		建設年	Is 値	
54	尚白園							△
55	東福祉館							△
56	川崎会館		該当					△
57	高水会館		該当		該当			○

※尚白園及び東福祉館については、耐震 1 次診断を実施し、その結果、耐震性能が劣っていることから、総合評価に反映した。

【教育集会所】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービスの 方向性	建物の方向性		
			建設年	Is 値		建設年	Is 値	
58	御山集会所		該当		該当			○
59	西殿木原集会所		該当					△
60	平井集会所		該当		該当			○
61	明石集会所		該当		該当			○

【離島等振興施設】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービス の方向性	建物の方向性		
			建設年	Is値		建設年	Is値	
67	大津島ふれあいセンター							▲
68	大津島海の郷							
69	金峰杣の里交流館							

※「大津島ふれあいセンター」と「体験交流施設大津島海の郷」については、機能が重複する部分が多いため、「大津島ふれあいセンター」について、総合評価に反映した。

【市民交流その他】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービスの 方向性	建物の方向性		
			建設年	Is 値		建設年	Is 値	
62	ゆめプラザ熊毛							
63	コアプラザかの		該当					△
64	中須北交流拠点施設							
65	コミュニティ倉庫							
66	(新規)大道理夢求の里交流館							

8.3 教育文化施設

8.3.1 施設概要と課題等

(1) 図書館、ホール等

本市では、図書館 5 施設のほか、移動図書館を運用しています。

近年、図書館の管理運営にあたっては、コストの削減や利用者サービスの向上を考え、民間施設との複合化や指定管理者制度を導入している自治体もあります。

ホールは、徳山地区と新南陽地区に 4 施設を整備しています。このうち、文化会館は、全国有数の音響施設を備えたホールで、著名なアーティスト等による興業も多く開催され、市内外から多くの利用者がある施設です。

熊毛地区や鹿野地区においては、それぞれ熊毛勤労者総合福祉センター（サンウイング熊毛）や鹿野公民館をホールとして活用することで、地域ニーズにえています。

表 8-5 施設一覧表（教育文化施設 図書館、ホール等）

No.	現在所有する施設	所在地区	建築年次	延床面積（㎡）
1	中央図書館	徳山	1981	3,681
2	新南陽図書館	富田西	1976	1,654
3	福川図書館	福川	1990	164
4	熊毛図書館	勝間	2010	890
5	鹿野図書館	鹿野	1993	830
6	鹿野公民館（ホール）	鹿野	1966	1,733
7	文化会館	岐山	1982	11,118
8	新南陽ふれあいセンター	福川	1990	5,268
9	市民館	徳山	1956	3,241
10	市民館（別館小ホール）	徳山	1966	377

(2) 美術館、民俗資料展示室

本市では美術館、民俗資料展示室として 5 施設を整備しています。

美術博物館については、動物園、文化会館と近接しており、市内外から多くの利用者がある大規模な集客施設です。郷土美術資料館は、永源山公園内にあります。熊毛歴史展示室と鹿野民俗資料展示室は、図書館と複合化されています。

表 8-6 施設一覧表（教育文化施設 美術館、民俗資料展示室）

No.	現在所有する施設	所在地区	建築年次	延床面積（㎡）
11	美術博物館	徳山	1995	3,603
12	郷土美術資料館	富田西	1995	456
13	新南陽民俗資料展示室	福川	1972	415
14	熊毛歴史展示室	勝間	2010	46
15	鹿野民俗資料展示室	鹿野	1993	291

(3) 勤労福祉センター・勤労青少年ホーム

本市では、勤労福祉センター・勤労青少年ホームについて、2 施設を整備しています。

勤労福祉センター・徳山勤労青少年ホームについては、勤労青少年を対象とした文化、教養講座を開催するほか、各種団体の会議で利用されています。

熊毛勤労者総合福祉センター（サンウイング熊毛）は、熊毛地区のホールとしての機能も有しており、地域住民の文化活動の場としても利用されています。

表 8-7 施設一覧表(教育文化施設 勤労福祉センター・徳山勤労青少年ホーム)

No.	現在所有する施設	所在地区	建築年次	延床面積(㎡)
16	勤労福祉センター・徳山勤労青少年ホーム	徳山	1970	2,290
17	熊毛勤労者総合福祉センター (サンウイング熊毛)	勝間	1998	2,125

(4) 歴史資料記念館、伝統工芸・自然動物保護施設他

歴史資料記念館、伝統工芸・自然動物保護などの施設は、各地域固有の歴史や文化、自然、特性等に応じて設置しています。本市では7 施設を整備しています。

山田家本屋、徳修館は、山口県指定有形文化財の指定を受けています。

大田原自然の家は、小・中学校の児童及び生徒の宿泊訓練、野外活動、青少年・社会教育団体等の研修活動の実施を目的に設置しています。施設は急傾斜地に隣接し、敷地及び周辺地の一部は土砂災害特別警戒区域に指定されています。

表 8-8 施設一覧表(教育文化施設 歴史資料記念館、伝統工芸・自然動物保護施設)

No.	現在所有する施設	所在地区	建築年次	延床面積(㎡)
18	回天記念館	大津島	1968	472
19	須金和紙センター	須金	1991	114
20	大田原自然の家	中須	1952	1,351
21	山田家本屋	湯野	2003	142
22	尾崎記念集会所	福川	1924	387
23	徳修館	三丘	1989	97
24	周南市八代鶴保護センター	八代	2006	1,449

8.3.2 取組み方策の選定

(1) 図書館、ホール等

【サービス提供の方向性】

図書館は、市民文化・教養の向上などのほか、生涯学習の推進を図るために、その機能は維持していくこととします。

ホール等については、維持管理に多額の費用を要することや、稼働率の向上が課題であることから、運営の効率化を図る必要があります。利用圏域が広域で本市のシンボルとなる施設については、その価値を維持します。

その他、受益者負担の見直しについても検討します。

【建物の方向性】

図書館は、引き続き機能を維持していく必要があることから、新しい施設については現状維持とし、30 年以上経過し、建物が老朽化している施設については、更新の際に複合化（集約化）について検討します。

ホール等は、他自治体において複数の機能を持った施設が併設されている事例が多くあるため、建築から 30 年以上経過し、建物が老朽化している施設については、更新の際に複合化（集約化）についても検討します。また、建築からの経過年数が 30 年未満で建物が比較的新しく、大規模な施設については、多目的化についても検討します。

【既に決定している計画等】

- ・新南陽図書館 ⇒平成 27 年度に周南市学び・交流プラザに移転
- ・市民館、市民館（別館小ホール） ⇒平成 27 年度廃止

(2) 美術館、民俗資料展示室

【サービス提供の方向性】

美術館では、本格的な芸術作品に触れる機会の提供や、郷土ゆかりの歴史・文化・芸術資料の収集・保存を通じ、本市の芸術・文化の発展に貢献していることから、その機能は維持します。

民俗資料展示室において本市の民俗・歴史資料の伝承を行うことは必要であり、引き続き機能を維持します。

その他、受益者負担の見直しについても検討します。

【建物の方向性】

美術館は、継続利用（現状維持）を基本としますが、建築からの経過年数が 30 年未満で建物が比較的新しく、大規模な施設については、多目的化についても検討します。

利用圏域が広域で、本市の魅力と集客力の向上が見込める美術博物館については、その価値を維持するために、計画的に修繕を行います。

市内に 3 か所ある民俗資料展示室については、新南陽民俗資料展示室が建築から 30 年以上経過し、建物の老朽化が進んでいることから、統廃合や複合化（集約化）を検討します。

【既に決定している計画等】

- ・なし

(3) 勤労福祉センター・勤労青少年ホーム

【サービス提供の方向性】

設置当初の目的が達成されたものや、状況に変化がみられるものについては、サービス内容の見直しを検討します。

運営面においては、民間のノウハウの活用が期待できるため、指定管理等について検討するほか、受益者負担の見直しについても検討します。

【建物の方向性】

勤労福祉センター・徳山勤労青少年ホームについては、当面仮庁舎として使用します。

熊毛勤労者総合福祉センター（サンウイング熊毛）については、建物が比較的新しく（建築からの経過年数は 30 年未満）、施設の延床面積が大規模であるので、多目的化を検討します。

【既に決定している計画等】

- ・勤労福祉センター・徳山勤労青少年ホーム ⇒平成 27 年 9 月廃止（建物は新庁舎建設に伴い、当面仮庁舎として使用します）

(4) 歴史資料記念館、伝統工芸・自然動物保護施設他

【サービス提供の方向性】

教育文化に関する施設は、各地域固有の歴史や文化、自然保護を通じて、市民に必要なサービスを提供しているため、現状維持を基本とします。

運営面では、民間のノウハウの活用が期待できるため、指定管理等について検討し、あわせて受益者負担の見直しについても検討します。

【建物の方向性】

教育文化施設のうち、他の施設との複合化が困難な施設や、文化財の指定を受けている施設については、継続利用（現状維持）を基本とします。

大田原自然の家については、建築から 60 年以上経過し、建物が老朽化していることとあわせ、土砂災害特別警戒区域にあることから、施設のあり方について早急に検討します。

【既に決定している計画等】

- ・なし

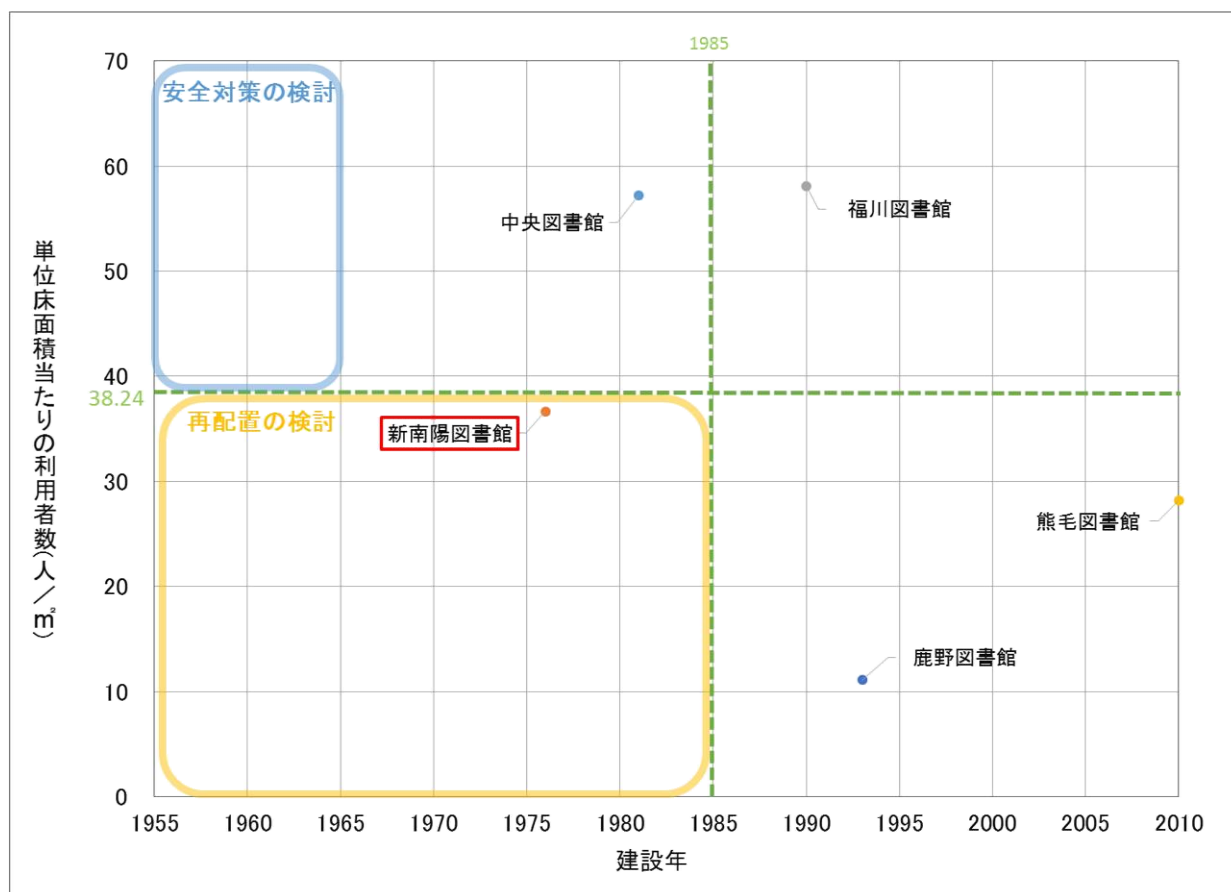
8.3.3 優先的に検討すべき施設の抽出

(1) 建物の方向性(建築経過年数)

- ・「既存の建物を現状のままサービス提供に利用できるか」という視点

【図書館(建築経過年年)】

指標名	内容
単位床面積当たりの利用者数(人/㎡)	利用者数÷延床面積 サービス水準：38.24(人/㎡)
建設年	建物の建設年 ※建物が建設された時点からの経過年数で安全性を評価 安全性水準： 安全対策の検討：建設後50年以上経過している施設(1965年) 再配置の検討：建設後30年以上経過している施設(1985年)

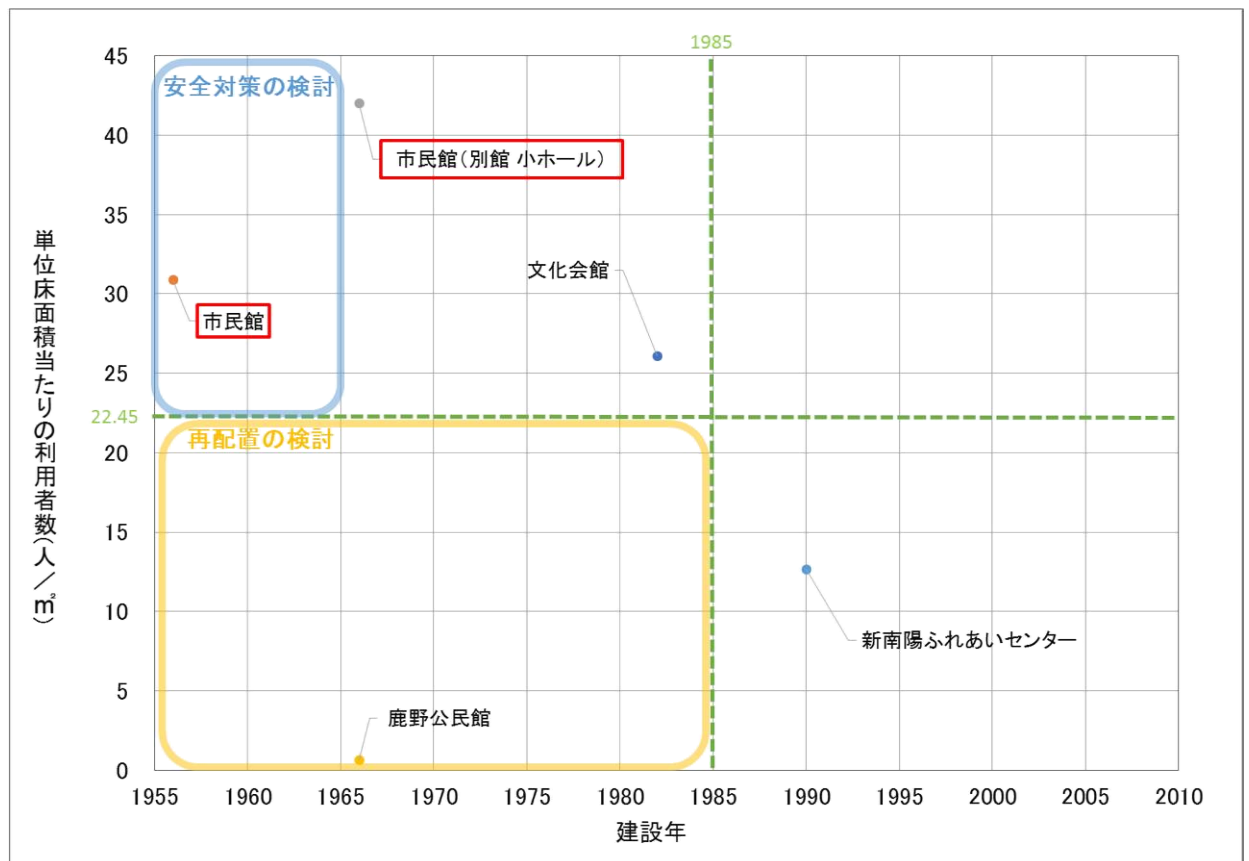


以下に記載する施設については、赤い枠線で示しています。

- ・新南陽図書館 ⇒周南市学び・交流プラザに移転(平成27年度)

【ホール(建築経過年)】

指標名	内容
単位床面積当たりの利用者数(人/㎡)	利用者数÷延床面積 サービス水準：22.45(人/㎡)
建設年	建物の建設年 ※建物が建設された時点からの経過年数で安全性を評価 安全性水準： 安全対策の検討：建設後 50 年以上経過している施設(1965 年) 再配置の検討：建設後 30 年以上経過している施設(1985 年)



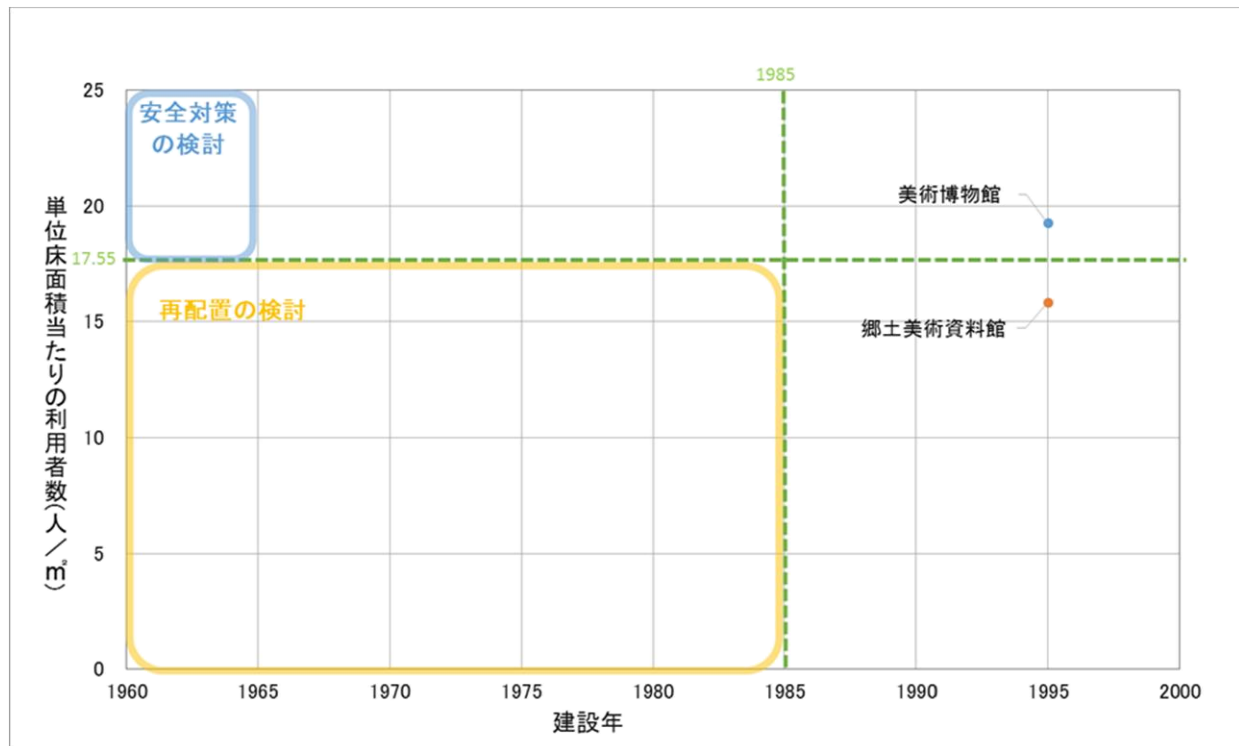
※鹿野公民館については、施設の利用実態がホール機能のみとなっているため、ホールとして検討する。

以下に記載する施設については、赤い枠線で示しています。

- ・市民館、市民館（別館小ホール） ⇒平成 27 年度廃止

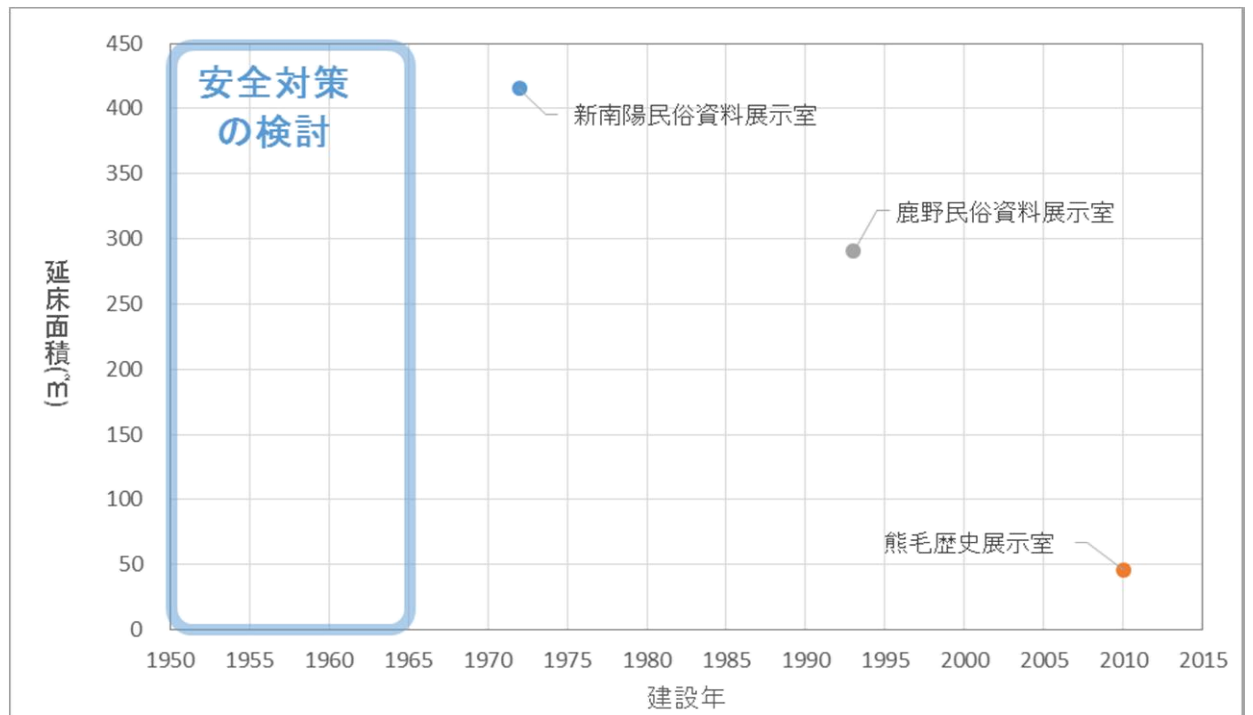
【美術館(建築経過年)】

指標名	内容
単位床面積当たりの利用者数 (人/㎡)	利用者数÷延床面積 サービス水準：17.55 (人/㎡)
建設年	建物の建設年 ※建物が建設された時点からの経過年数で安全性を評価 安全性水準： 安全対策の検討：建設後 50 年以上経過している施設 (1965 年) 再配置の検討：建設後 30 年以上経過している施設 (1985 年)



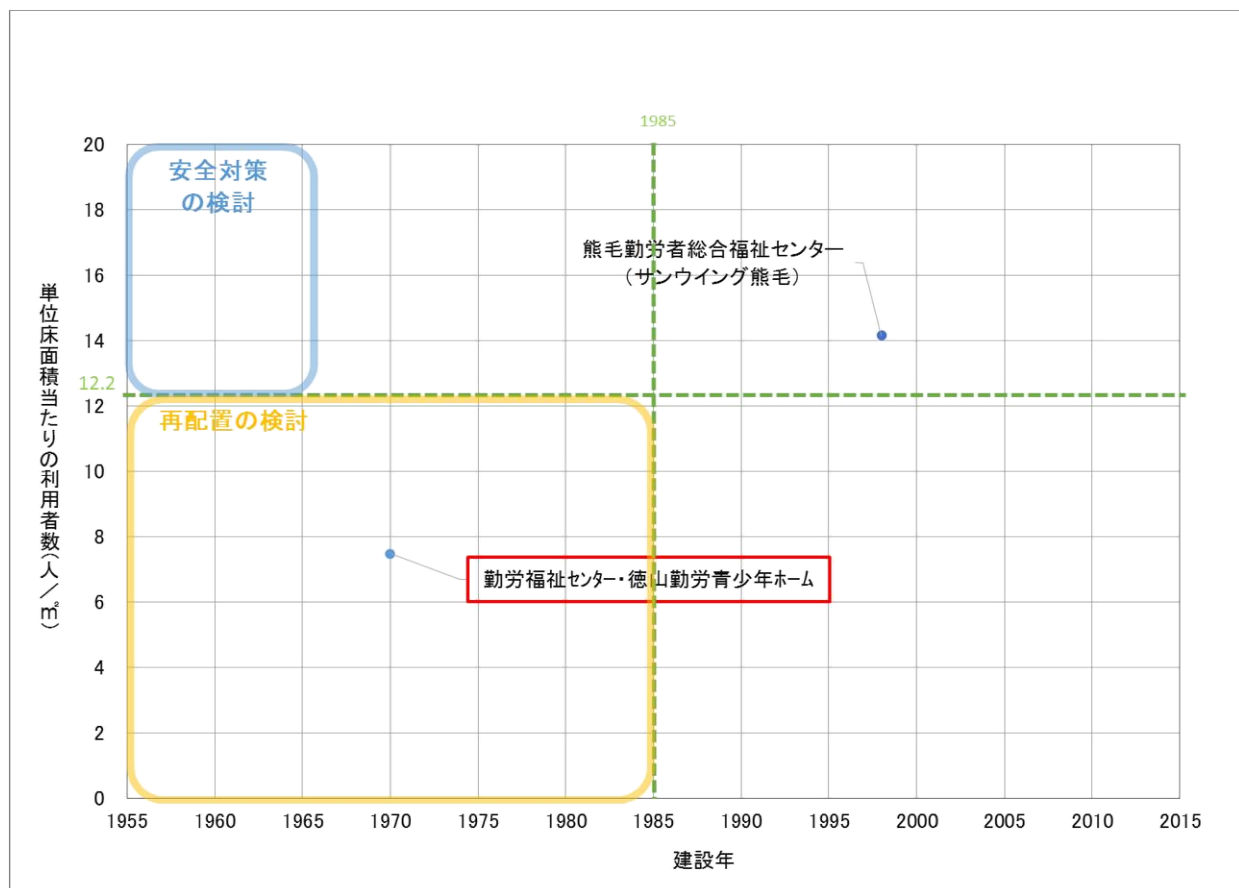
【民俗資料展示室】

民俗資料展示室では、建設年を用いて優先的に安全対策の検討を行う必要のある施設を抽出します。



【勤労福祉センター】

指標名	内容
単位床面積当たりの利用者数（人/㎡）	利用者数÷延床面積 サービス水準：12.2（人/㎡）
建設年	建物の建設年 ※建物が建設された時点からの経過年数で安全性を評価 安全性水準： 安全対策の検討：建設後 50 年以上経過している施設（1965 年） 再配置の検討：建設後 30 年以上経過している施設（1985 年）



※勤労福祉センターの閾値については、同様のサービスを提供している「コアプラザかの」、「ゆめプラザ熊毛」、「新南陽ふれあいセンター」の値と通算し、その平均値を用いる。

以下に記載する施設については、赤い枠線で示しています。

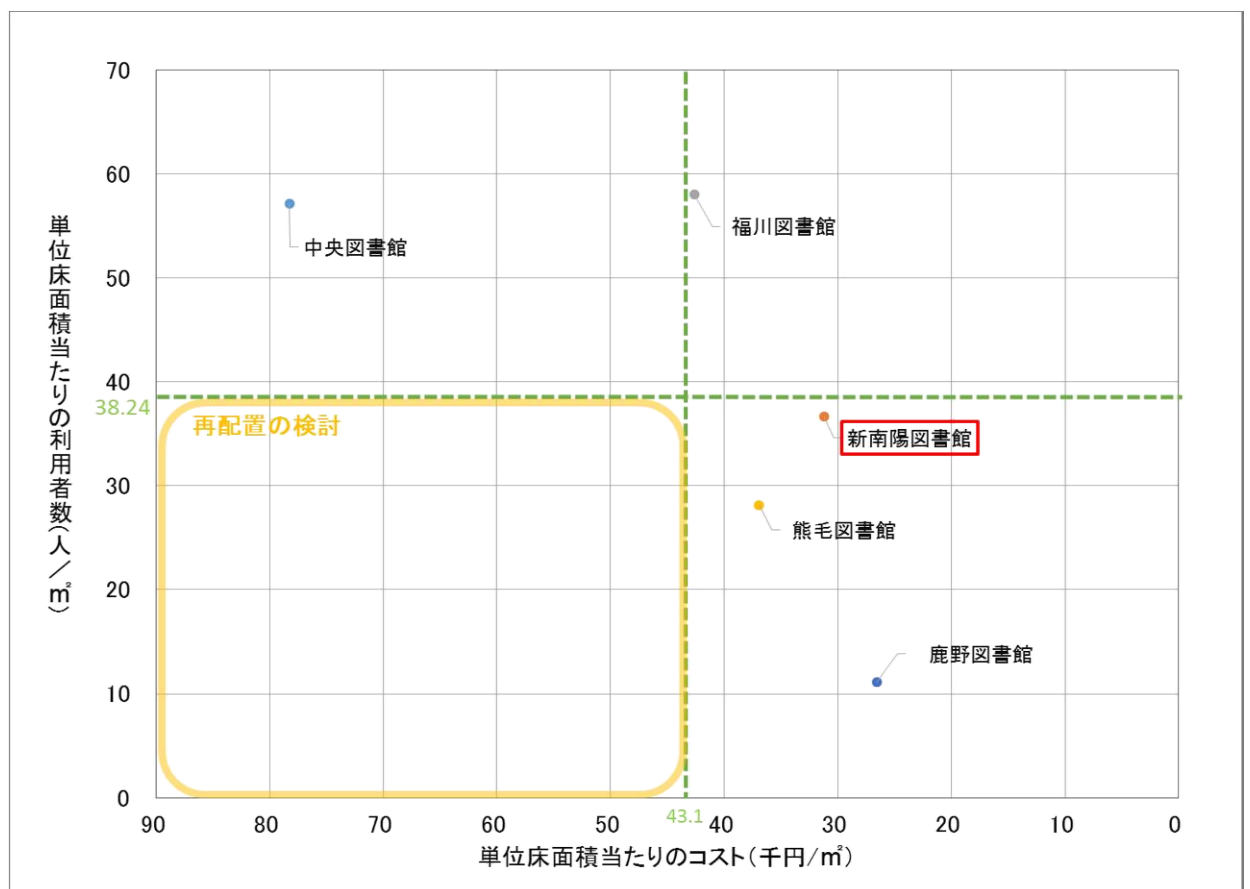
- ・勤労福祉センター・徳山勤労青少年ホーム ⇒平成 27 年 9 月廃止（建物は新庁舎建設に伴い、当面仮庁舎として使用します）

(2) サービスの方向性

- ・「既存の提供サービスを継続させることが妥当か」という視点

【図書館】

指標名	内容
単位床面積当たりの利用者数（人/㎡）	利用者数÷延床面積 サービス水準：38.24（人/㎡）
単位床面積当たりのコスト（千円/㎡）	単位床面積当たりの支出の合計 ※公共施設の保持するために必要となる費用の合計 効率性水準：単位床面積当たりのコスト（43.1 千円/㎡）

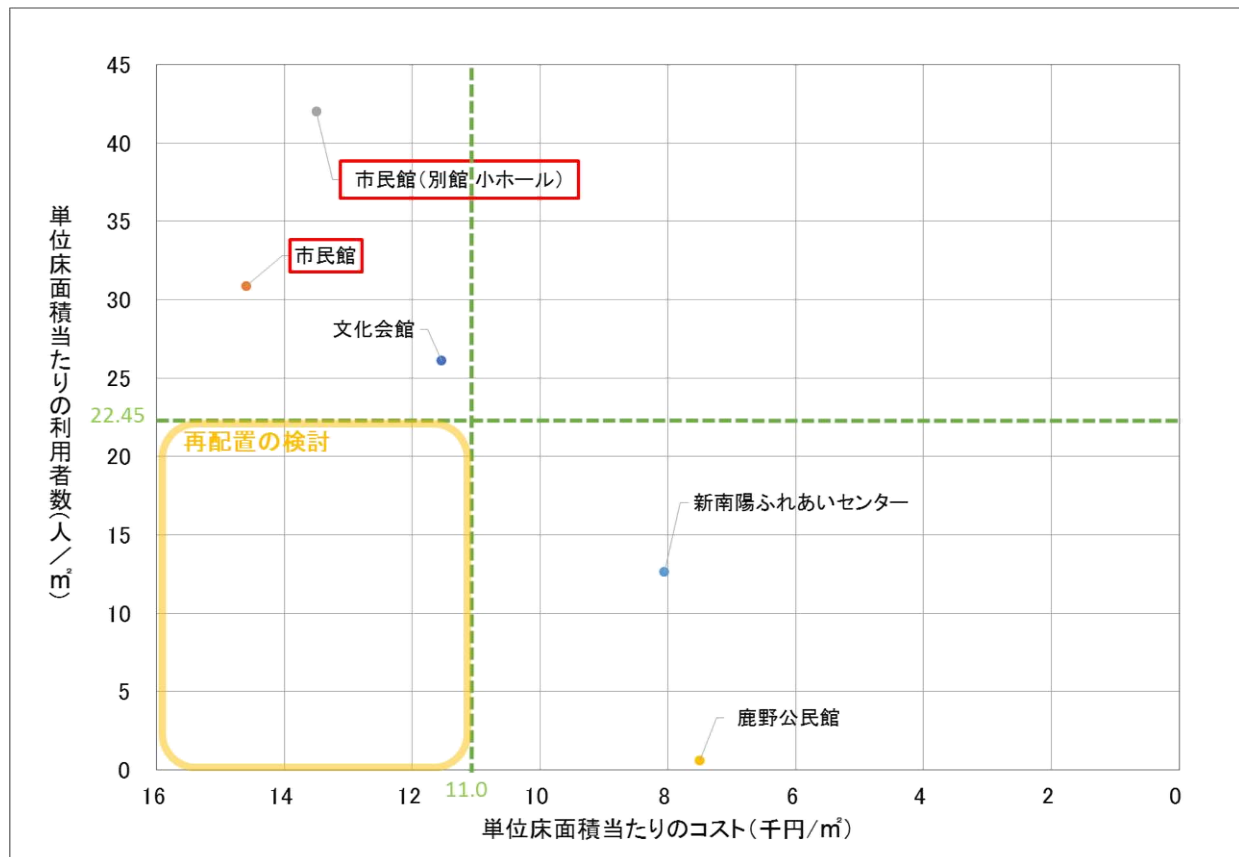


以下に記載する施設については、赤い枠線で示しています。

- ・新南陽図書館 ⇒周南市学び・交流プラザに移転（平成 27 年度）

【ホール】

指標名	内容
単位床面積当たりの利用者数（人/㎡）	利用者数÷延床面積 サービス水準：関連施設の平均 ※（22.45 人/㎡）
単位床面積当たりのコスト（千円/㎡）	単位床面積当たりの支出の合計 ※公共施設の保持するために必要となる費用の合計 効率性水準：単位床面積当たりのコスト（11.0 千円/㎡）



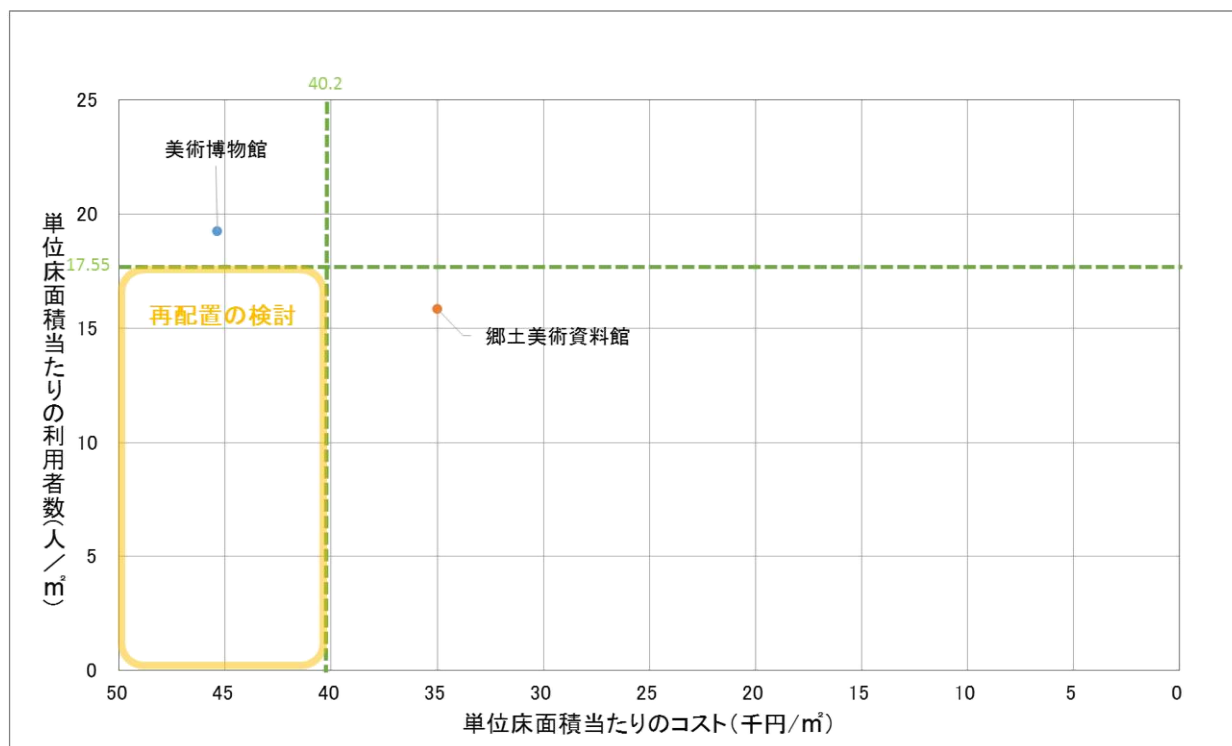
※鹿野公民館については、施設の利用実態がホール機能のみとなっているため、ホールとして検討する。

以下に記載する施設については、赤い枠線で示しています。

- ・市民館、市民館（別館小ホール） ⇒平成 27 年度廃止

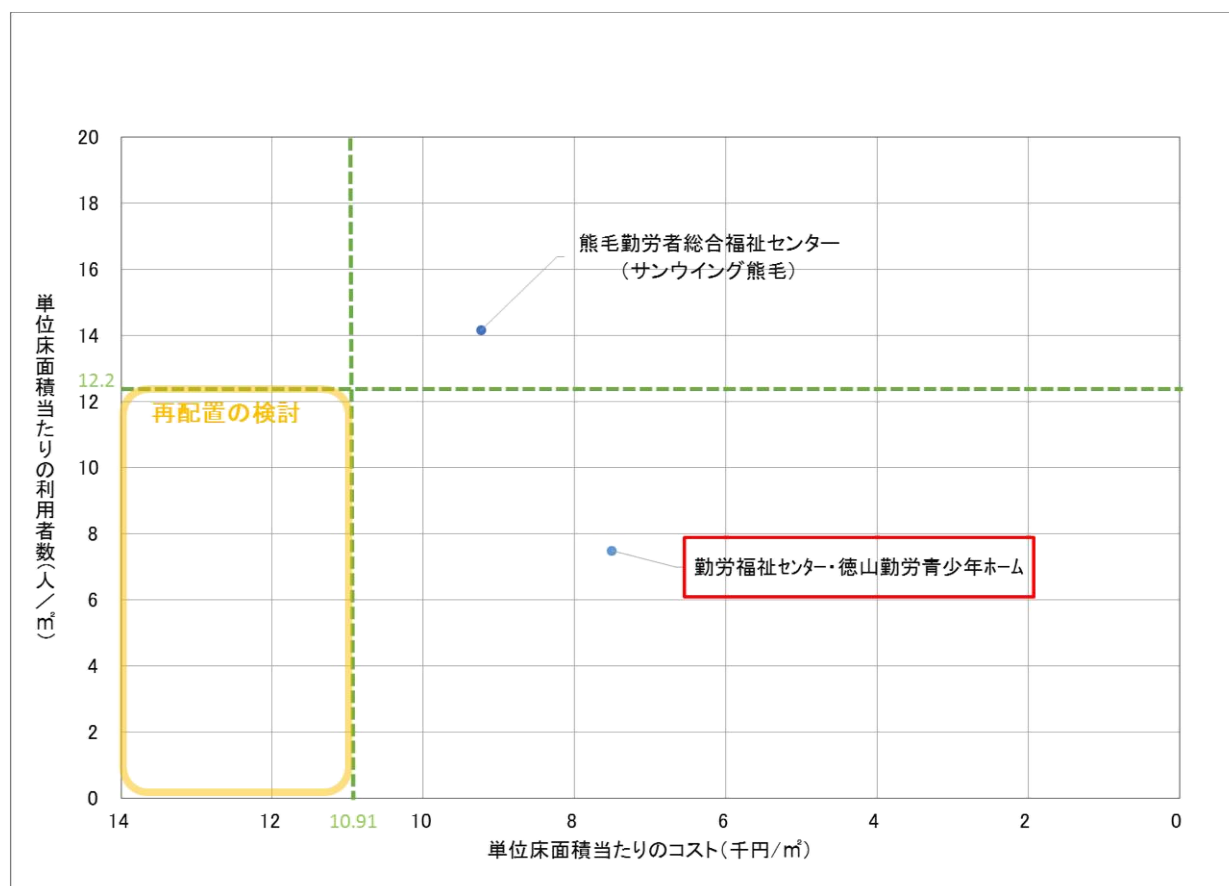
【美術館】

指標名	内容
単位床面積当たりの利用者数（人/㎡）	利用者数÷延床面積 サービス水準：関連施設の平均 ※（17.55 人/㎡）
単位床面積当たりのコスト（千円/㎡）	単位床面積当たりの支出の合計 ※公共施設の保持するために必要となる費用の合計 効率性水準：単位床面積当たりのコスト（40.2 千円/㎡）



【勤労福祉センター】

指標名	内容
単位床面積当たりの利用者数（人/㎡）	利用者数÷延床面積 サービス水準：関連施設の平均 ※（12.2 人/㎡）
単位床面積当たりのコスト（千円/㎡）	単位床面積当たりの支出の合計 ※公共施設の保持するために必要となる費用の合計 効率性水準：単位床面積当たりのコスト（10.91 千円/㎡）



※勤労福祉センターの閾値については、同様のサービスを提供している「コアプラザかの」、「ゆめプラザ熊毛」、「新南陽ふれあいセンター」の値と通算し、その平均値を用いる。

以下に記載する施設については、赤い枠線で示しています。

- ・勤労福祉センター・徳山勤労青少年ホーム ⇒平成 27 年 9 月廃止（建物は新庁舎建設に伴い、当面仮庁舎として使用します）

(3) 優先的に検討すべき施設

【優先的に検討すべき施設の抽出結果】

- ・◎：全 24 施設中、1 施設
- ・○：全 24 施設中、0 施設
- ・△：全 24 施設中、3 施設
- ・▲：全 24 施設中、0 施設

記号の見かたは 75 ページ参照（優先度：◎＞○＞△＞▲）

【図書館】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービ スの方向性	建物の方向性		
			建設年	Is 値		建設年	Is 値	
1	中央図書館							
2	新南陽図書館	有	-	-	-	-	-	-
3	福川図書館							
4	熊毛図書館							
5	鹿野図書館							

【ホール】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービスの 方向性	建物の方向性		
			建設年	Is 値		建設年	Is 値	
6	鹿野公民館（ホール）		該当					△
7	文化会館							
8	新南陽ふれあいセンター							
9	市民館	有	-	-	-	-	-	-
10	市民館（別館 小ホール）	有	-	-	-	-	-	-

【美術館】

No.	施設名	具体的計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策の検討を行う施設		総合評価
			建物の方向性		サービスの方向性	建物の方向性		
			建設年	Is 値		建設年	Is 値	
11	美術博物館							
12	郷土美術資料館							

【民俗資料展示室】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービ スの方向性	建物の方向性		
			建設年	Is 値		建設年	Is 値	
13	新南陽民俗資料展示室							△
14	熊毛歴史展示室							
15	鹿野民俗資料展示室							

※新南陽民俗資料展示室については、建築から 42 年経過し老朽化しているため、総合評価に反映した。

【勤労福祉センター】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービス の方向性	建物の方向性		
			建設年	Is 値		建設年	Is 値	
16	勤労福祉センター・徳山勤労青少年ホーム	有	－	－	－	－	－	－
17	熊毛勤労者総合福祉センター (サンウイング熊毛)							

【教育文化その他】

No.	施設名	具体的 計画	優先的に再配置の検討を行う施設			優先的に安全対策 の検討を行う施設		総合 評価
			建物の方向性		サービス の方向性	建物の方向性		
			建設年	Is 値		建設年	Is 値	
18	回天記念館							
19	須金和紙センター							
20	大田原自然の家							◎
21	山田家本屋							
22	尾崎記念集会所							△
23	徳修館							
24	周南市八代鶴保護センター							

※大田原自然の家は建築から 62 年が経過し老朽化し、土砂災害特別警戒区域に立地しているため、総合評価に反映した。

※尾崎記念集会所は、建築から 90 年が経過し老朽化しているため、総合評価に反映した。

※【教育文化その他】の施設については、施設の設置目的や利用実態が異なることから、ポートフォリオでの分析は行っていない。